

- 「UNIX」は、X/Open Company Ltd.がライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- 「Adobe」「PostScript」は、Adobe Systems Incorporatedの各国での登録商標または商標です。
- 「SunOS」「Solaris」は、米国サン・マイクロシステムズ社の商標です。
- 「SPARCstation」は、SPARCInternational,Incの商標です。
- 「HP-UX」は、ヒューレットパッカード社の商標です。
- 「Linux」の名称は、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- 「Red Hat」は、Red Hat,inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「TurboLinux」の名称は、TurboLinux,Inc.の商標です。
- 「リュウミン L-KL」「中ゴシック-BBB」は株式会社モリサワの商標です。
- 「Helvetica」「Palatino」「Times」は Linotype-HellAG および Linotype-HellAG の子会社の商標です。
- 「ITC Avant Garde」「ITC Bookman」「ITC Zapf Chancery」「ITC Dingbats」は International Typeface Corporationの登録商標です。
- その他の記載された製品名、会社名は該当する各社の登録商標または商標です。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社まで御連絡ください。

また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が課されることがあります。

【XEROX】【The Document Company】【イーサネット】【Able】は登録商標です。

はじめに

このたびは、エイセルの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
製品の機能を十分に活用し、効果的にご利用いただくため、本書をお読みください。

本書は、UFPrintTool ユーティリティソフトウェアを利用したプリント操作方法について説明しています。

なお、本書の内容は、ワークステーションと OS 環境の基本的な知識や操作方法をほぼご理解いただいていることを前提に説明しています。

本書の記載事項は事前通知なしに変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

2012 年 2 月
エイセル株式会社

マニュアルの種類

マニュアルの種類には以下のものがあります。

《本体同梱マニュアル》

本体同梱マニュアルとは、プリンターに同梱されているマニュアルです。

《別売品同梱マニュアル》

別売品同梱マニュアルとは、オプション製品に同梱されているマニュアルです。
オプション製品の取扱方法や設定方法を説明しています。

《商品マニュアル》

商品マニュアルとは、必要に応じて購入していただくマニュアルです。

商品マニュアルとしては、プリンター（プロッター）制御言語のコマンドを参照するためのリファレンスマニュアルがあります。

マニュアルの一覧表は、《本体同梱マニュアル》の取扱説明書に記載してあります。「マニュアルの種類」の詳細については、取扱説明書を参照してください。

本書の読み方

■本書の構成

本書の各章の内容を次に説明します。

- 第1章 概要
UFPrintTool の特長と利用可能な環境について説明しています。
- 第2章 インストール
UFPrintTool のインストール方法について説明しています。
- 第3章 起動方法と印刷方法
UFPrintTool の起動方法、および印刷までの簡単な使用方法について説明しています。
- 第4章 各画面の機能説明 (SunOS 4.x/Linux/HP-UX)
UFPrintTool の各画面の機能を説明しています。
- 第5章 各画面の機能説明 (Solaris)
UFPrintTool の各画面の機能を説明しています。
- 第6章 コマンドライン作成機能
UFPrintTool によって作成されるコマンドラインについて説明しています。
- 第7章 オプションの競合
UFPrintTool の同時に使用できないオプションについて説明しています。
- 第8章 設定保存ファイル
UFPrintTool の各コントロール変更内容の設定保存機能について説明しています。
- 第9章 エラーメッセージ
UFPrintTool の各エラーメッセージについて説明しています。

■本書の表記

①本文中では、説明する内容によって、次の用語を使用しています。

- Sun ▶ SunOS 4.x
- Solaris ▶ Solaris
- Linux ▶ Red Hat Linux、TurboLinux、VineLinux
- HP ▶ HP-UX
- Mono ▶ DocuPrint 201PS
DocuPrint 280
DocuPrint 260/360
DocuPrint 400/250
DocuPrint 401
DocuCentre 230/280
DocuCentre 250/350/400
DocuCentre 251/351/401
DocuCentre 352/402
DocuCentre 450/550
DocuCentre 450E/550E/600
DocuCentre 505/605/705
DocuCentre 507/607/707
DocuCentre 559/659/719
Laser Press 2100PS
Laser Press 4150/4150PS/4150 II/4150PS II
Laser Press 4160/4160 II/4161/4161 II
Laser Press 4200/4300
Laser Press 4210/4410
Able 3321/3221/1321/1320/1220
Able 3405/3350/3351/3250/1405/1350/1351/1250/1251
- Mono2 ▶ DocuPrint 205/255/305
DocuPrint 340A
DocuPrint 350JM
DocuPrint 405/505
DocuPrint 2060/3050
DocuPrint 3100/3000
DocuPrint 4050
DocuPrint 5060/4060
DocuCentre 185/155
DocuCentre 1085/1055
DocuCentre f285/f235/a285/a235
DocuCentre f1100/f900/a1100/a900
DocuCentre 9000
ApeosPort 450 I/350 I
DocuCentre 450 I/350 I
ApeosPort 750 I/650 I/550 I

DocuCentre 750 I/650 I/550 I
ApeosPort-II 3000/4000
DocuCentre-II 3000/4000
ApeosPort-II 7000/6000/5000
DocuCentre-II 7000/6000/5000
DocuCentre-III 3000/2000
ApeosPort-III 4000/3010
DocuCentre-III 4000/3010
ApeosPort-III 7000/6000/5000
DocuCentre-III 7000/6000/5000
DocuCentre-IV 3060/2060
ApeosPort-IV 4070/3070
DocuCentre-IV 4070/3070
ApeosPort-IV 7080/6080/5080
DocuCentre-IV 7080/6080/5080
4112/4127

注記 ▶ 正しく使っていただくための注意事項を記述しています。
手順を行う前に、お読みください。

参照 ▶ 参照項目を記述しています。

補足 ▶ 補足項目を記述しています。

② 本文中の「インターフェースボード」は、次のボードの総称です。

▶ Ethernet 10BASE5, 10BASE2, 10BASE-T, 100BASE-TX などの
インターフェースボード

③ 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」 特定のプリンター名やホスト名、メニューの選択項目、本書での参照箇所を
表示します。

例： ここでは「lp」とします。

「1」を選択して、ネットワークプリンターを設定します。

詳細は「2.2 インストール手順について」を参照してください。

< > キーボードのキーを表示します。

例： <Return>キーを押します。

『 』 参照する他のマニュアルを表示します。

例： ワークステーション側で設定を始める前に、『操作説明書』を参照し
てプリンター側で次の設定を行ってください。

④ メッセージに対して選択を行う場合、次の例中の[y]のように、[]内はデフォルト値を
表しています。この場合、メッセージに対して<Return>キーを押すと、デフォルト値「y」
が選択されます。デフォルト値を選択して<Return>キーを押した場合、例中の y のように
デフォルト値を少し太い文字で表記します。

例： output-printer-name is '4150PS' (y/n)[y] : **y**

⑤ キーボードから入力する文字は、次の例中の「/usr/local/fxbin」のように少し太い文字で
表記します。この場合は特に断らない限り、最後に<Return>キーを押してください。

例： Enter directory name [/usr/lib/fxbin] : **/usr/local/fxbin**

目次

はじめに.....	i
マニュアルの種類.....	ii
本書の読み方.....	iii
目次.....	vii
第 1 章 概要	10
1.1 特長.....	11
1.2 使用環境.....	11
1.3 対象プリンター.....	12
第 2 章 インストール	14
2.1 インストールの前提条件.....	15
2.2 インストール手順について.....	15
2.3 UFPrintToolで使用するファイル.....	16
第 3 章 起動方法と印刷方法	18
3.1 コマンドラインから起動する場合.....	19
3.2 アイコンから起動する場合.....	20
3.3 簡単な印刷例（SunOS 4.x/Linux/HP-UXの場合）.....	23
3.3.1 標準設定で印刷を行う場合.....	23
3.3.2 デバイスの設定を行って印刷する場合.....	25
3.4 簡単な印刷例（Solarisの場合）.....	27
3.4.1 標準設定で印刷を行う場合.....	27
3.4.2 デバイスの設定を行って印刷する場合.....	29
3.5 UFPrintToolの起動オプション.....	31
第 4 章 各画面の機能説明（SUNOS 4.x/LINUX/HP-UX）	32
4.1 メイン画面.....	33
4.2 ファイル選択画面.....	37
4.3 余白設定画面.....	39
4.4 フォント設定画面.....	41
4.5 画像詳細設定画面.....	42
4.6 特殊文字設定画面.....	44
4.7 デバイス設定画面.....	45
4.7.1 Mono2 の場合.....	45

4.7.2 Monoの場合	47
4.8.... ユーザー定義用紙設定画面	50
第5章 各画面の機能説明 (SOLARIS)	51
5.1.... メイン画面	52
5.2.... ファイル選択画面	56
5.3.... 余白設定画面	58
5.4.... フォント設定画面	61
5.5.... 画像詳細設定画面	62
5.6.... 特殊文字設定画面	64
5.7.... デバイス設定画面	65
5.7.1 Mono2の場合	65
5.7.2 Monoの場合	67
5.8.... ユーザー定義用紙設定画面	70
第6章 コマンドライン作成機能	71
6.1.... UNIXフィルターのコマンドライン作成機能	72
6.1.1 起動されるコマンド	72
6.1.2 各コマンドの実行形式	73
6.2.... メイン画面	75
6.3.... 余白設定画面	78
6.4.... フォント設定画面	78
6.5.... 画像詳細設定画面	79
6.6.... 特殊文字設定画面	79
6.7.... デバイス設定画面	80
6.8.... ユーザー定義用紙設定画面	80
第7章 オプションの競合	81
7.1.... ファイル形式により制限されるオプション	82
7.2.... デバイス設定により制限されるオプション	84
第8章 設定保存ファイル	86
8.1.... 仕組みについて	87
8.2.... 設定保存ファイル	87
8.3.... 変更内容の読み込み	88
8.4.... 変更内容の保存	88
8.5.... 設定保存ファイルの内容	89

第 9 章 エラーメッセージ	91
9.1 エラーメッセージ一覧	92
用語の説明.....	93
索引	94

第1章 概要

この節では、UFPrintTool の特長および使用環境について説明します。

1.1 特長

UFPrintTool は、コマンドライン入力なしでの印刷を可能とするツールです。

UFPrintTool は、視覚的なオプション設定を可能とし、ダイアログの各コントロールに値を入力、選択する事により UNIX フィルターを実行するコマンドラインを作成し実行します。

また、UFPrintTool は従来の UNIX フィルターの印刷機能はすべてサポートしています。プリンターモデル、ファイルタイプ毎に有効となるオプションも同様とします。

また、プリンター機能を使用して以下の出力を行うことができます。

- ▶ 給紙指定印刷
- ▶ 排紙指定印刷
- ▶ 両面印刷

注記 ▶ UFPrintTool は、使用するプリンターの機種やその構成によっては、利用できないものがあります。

1.2 使用環境

UNIX フィルターに準じます。『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。

1.3 対象プリンター

対象プリンターは次のとおりです。

- ▶ DocuPrint 201PS
- ▶ DocuPrint 280
- ▶ DocuPrint 260/360
- ▶ DocuPrint 400/250
- ▶ DocuPrint 401
- ▶ DocuCentre 230/280
- ▶ DocuCentre 250/350/400
- ▶ DocuCentre 251/351/401
- ▶ DocuCentre 352/402
- ▶ DocuCentre 450/550
- ▶ DocuCentre 450E/550E/600
- ▶ DocuCentre 505/506/605/606/705/706
- ▶ DocuCentre 508/507/608/607/708/707
- ▶ DocuCentre 559/659/719
- ▶ Laser Press 2100PS
- ▶ Laser Press 4150/4150PS/4150 II/4150PS II
- ▶ Laser Press 4160/4160 II/4161/4161 II
- ▶ Laser Press 4200/4300
- ▶ Laser Press 4210/4410
- ▶ Able 3321/3221/1321/1320/1220
(以降、Able Model-PR シリーズと呼びます。)
- ▶ Able 3405/3350/3351/3250/1405/1350/1351/1250/1251
(以降、Able Model-PR II シリーズと呼びます。)
- ▶ DocuPrint 205/255/305
- ▶ DocuPrint 340A
- ▶ DocuPrint 350JM
- ▶ DocuPrint 405/505
- ▶ DocuPrint 2060/3050
- ▶ DocuPrint 3100/3000
- ▶ DocuPrint 4050
- ▶ DocuPrint 5060/4060
- ▶ DocuCentre 185/155
- ▶ DocuCentre 1085/1055
- ▶ DocuCentre f285/f235/a285/a235
- ▶ DocuCentre f1100/f900/a1100/a900
- ▶ DocuCentre 9000
- ▶ ApeosPort 450 I/350 I
- ▶ DocuCentre 450 I/350 I
- ▶ ApeosPort 750 I/650 I/550 I

- ▶ DocuCentre 750 I/650 I/550 I
- ▶ ApeosPort-II 3000/4000
- ▶ DocuCentre-II 3000/4000
- ▶ ApeosPort-II 7000/6000/5000
- ▶ DocuCentre-II 7000/6000/5000
- ▶ DocuCentre-III 3000/2000
- ▶ ApeosPort-III 4000/3010
- ▶ DocuCentre-III 4000/3010
- ▶ ApeosPort-III 7000/6000/5000
- ▶ DocuCentre-III 7000/6000/5000
- ▶ DocuCentre-IV 3060/2060
- ▶ ApeosPort-IV 4070/3070
- ▶ DocuCentre-IV 4070/3070
- ▶ ApeosPort-IV 7080/6080/5080
- ▶ DocuCentre-IV 7080/6080/5080
- ▶ 4112/4127

注記 ▶ Laser Press 2100PS /4150PS /4150PS II /DocuPrint 201PS 以外の機種では、
プリンタ本体にオプションの PostScript Kit が必要になります。

第2章 インストール

この節では、UFPrintTool のインストール方法について説明します。

2.1 インストールの前提条件

インストールの前提条件は次のとおりです。

- ▶ 対応 OS は、CD-ROM 取扱の手引きに記載されているとおりです。
- ▶ ディスク容量は、インストール時の作業領域を含めて約 20MB の空き容量が必要です。
- ▶ スーパーユーザーの権限が必要です。権限を持っていない場合はネットワーク管理者に設定を依頼してください。
- ▶ Laser Press 2100PS をローカルプリンターとして使用する場合は、パラレルポートを使用してください。(SunOS 4.x でご使用になる場合、動作は保証されません。)

2.2 インストール手順について

UFPrintTool は UNIX フィルターと同時にインストールされます。

詳細は『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。

2.3 UFPrintTool で使用するファイル

UFPrintTool で使用されるファイルについて説明します。

ファイル	ディレクトリ位置	概要
ufptool	/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	UFPrintTool の実行形式
.UFPDefault	/usr/local/fxbin/UFPDefault /usr/local/fxbin205/UFPDefault	デフォルトオプション保存用ファイル
fxbinpath	/usr/lib/fxps /usr/lib/fxps205	バイナリ格納ディレクトリのパス保存 (SunOS/Linux)
	/usr/lib/lp/postscript	バイナリ格納ディレクトリのパス保存 (Solaris/HP)
Ufptool	/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	UFPrintTool のリソースファイル(SunOS)
	/usr/X11R6/lib/X11/app-defaults	UFPrintTool のリソースファイル(Linux)

注記 ▶ ディレクトリ位置はインストール時の選択されたプリンタタイプによって決まります。

- ufptool** UFPrintTool の実行ファイルです。このファイルを実行すると UFPrintTool が起動されます。起動方法については「第3章 起動方法と印刷方法」を参照してください。
- .UFPDefault** UFPrintTool オプションの設定保存ファイルのデフォルトです。UFPrintTool の各オプションのデフォルト値が格納されています。オプションの設定保存ファイルについては「第8章 設定保存ファイル」を参照してください。
- .fxbinpath** 「2.2 インストール手順について」にてユーザーが指定したディレクトリを格納したファイルです。そのディレクトリには UFPrintTool が使用する UNIX フィルターのコマンドが格納されています。UFPrintTool が使用する UNIX フィルターのコマンドについては以下に示します。各 UNIX フィルターコマンドの詳しい機能については『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。
- Ufptool** UFPrintTool のリソースファイルです。ウィンドウ内のフォント、フォント色、背景色などの設定データが格納されています。

<UFPrintTool で使用する UNIX フィルターのファイル>

コマンド	格納ディレクトリ	機能
euc2ps2	/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	EUC テキストファイルをポストスクリプトに変換
sunras2ps2	/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	SunRaster 形式のイメージファイルをポストスクリプトに変換 (SunOS)
sunras2g4	/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	SunRaster 形式のイメージファイルに G4 圧縮を行いポストスクリプトに変換 (SunOS)
tiff2ps2	/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	TIFF 形式のイメージファイルをポストスクリプトに変換
tiff2g4	/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	TIFF 形式のイメージファイルに G4 圧縮を行いポストスクリプトに変換
xwd2ps2	/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	XWD 形式のイメージファイルをポストスクリプトに変換
xwd2g4	/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	XWD 形式のイメージファイルに G4 圧縮を行いポストスクリプトに変換
fxpif	/usr/lib/fxps /usr/lib/fxps205	ポストスクリプトファイルにオプションを付加して印刷 (SunOS/Linux)
	/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	ポストスクリプトファイルにオプションを付加して印刷 (Solaris)

注記 ▶ ディレクトリ位置はインストール時の選択されたプリンタタイプによって決まります。

第3章 起動方法と印刷方法

この節では、UFPrintTool を使ったプリント操作について説明します。

3.1 コマンドラインから起動する場合

標準設定で起動する場合

標準の設定で UFPrintTool を起動する場合は、次のように入力します。

```
% ufptool
```

設定保存ファイルを読み込んで起動する場合

設定保存ファイルの設定内容を読み込んで起動する場合は次のように入力します。
設定保存ファイルについては「第 8 章 設定保存ファイル」を参照してください。

```
% ufptool -PPrinter
```

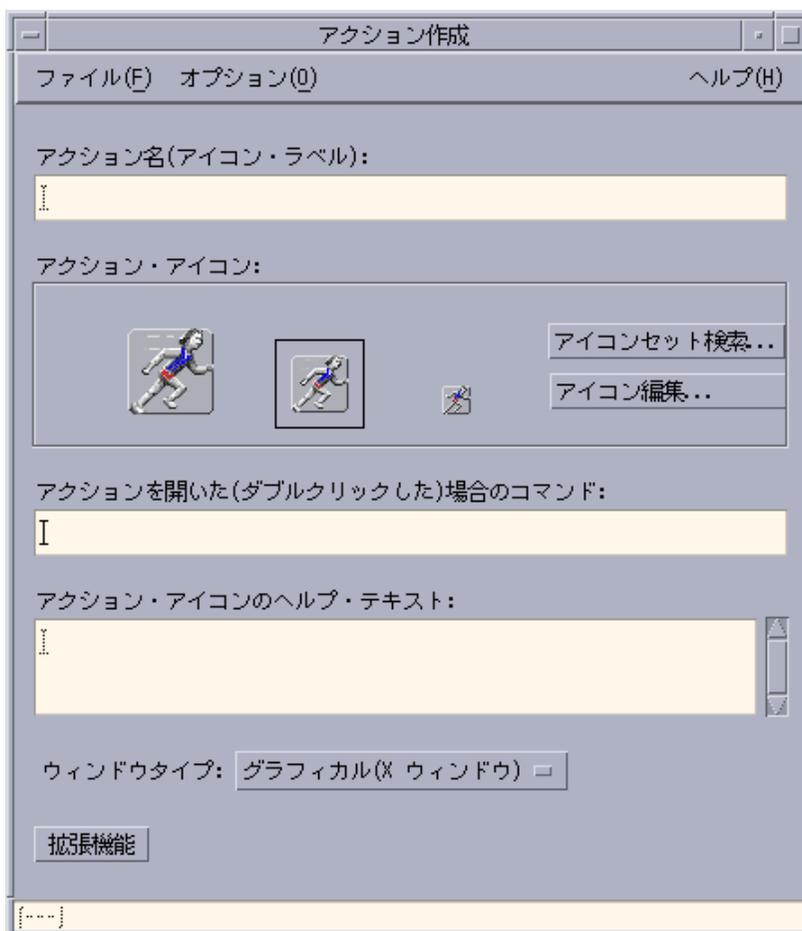
3.2 アイコンから起動する場合

UFPrintTool をアプリケーションとして登録すると、アイコンをクリックする事で起動できます。ここでは、アプリケーションの登録方法と、有効な使用方法について説明します。SunOS ではこの機能は使用できません。

[Solaris/HP-UX]

共通デスクトップ環境上でのアプリケーションの登録方法について説明します。

- ① 「アプリケーションマネージャー」から「デスクトップアプリケーション」を選択します。
- ② 「デスクトップアプリケーション」から「アクション作成」を起動させます。
(【図1】を参照)



【図1】

- ③ アクション名 (アイコン・ラベル) とアイコンを決定します。
- ④ 「アクションを開いた (ダブルクリックした) 場合のコマンド」テキストボックスには以下のように登録します。

```
/usr/local/sbin/ufptool
```

注記 ▶ パス名はユーザーがインストール時に指定したディレクトリです。

また、起動オプションを設定して登録するには下記のように登録します。起動オプションについては「3.5 UFPrintTool の起動オプション」を参照してください。

```
/usr/local/sbin/ufptool -PPHOENIX
```

これで、アプリケーションの登録は終了です。

作成したアイコンをダブルクリックすると、UFPrintTool が起動されます。

[Linux]

日本語 RedHat Linux5.2 の標準ウィンドウマネージャである LaserDesk によるアプリケーションの登録方法について説明します。

- ① UFPrintTool を起動します。
- ② デスクトップ左下隅にアイコンが表示されます。

注記 ▶ アイコンのデザインは変更できます。詳しくは WindowMaker のドキュメントを参照してください。



- ③ 表示されたアイコンを Dock(画面の右上に表示されています)の下の空いているところに移動させます。

これで、アプリケーションの登録は終了です。

作成したアイコンをダブルクリックすると、UFPrintTool が起動されます。

注記 ▶

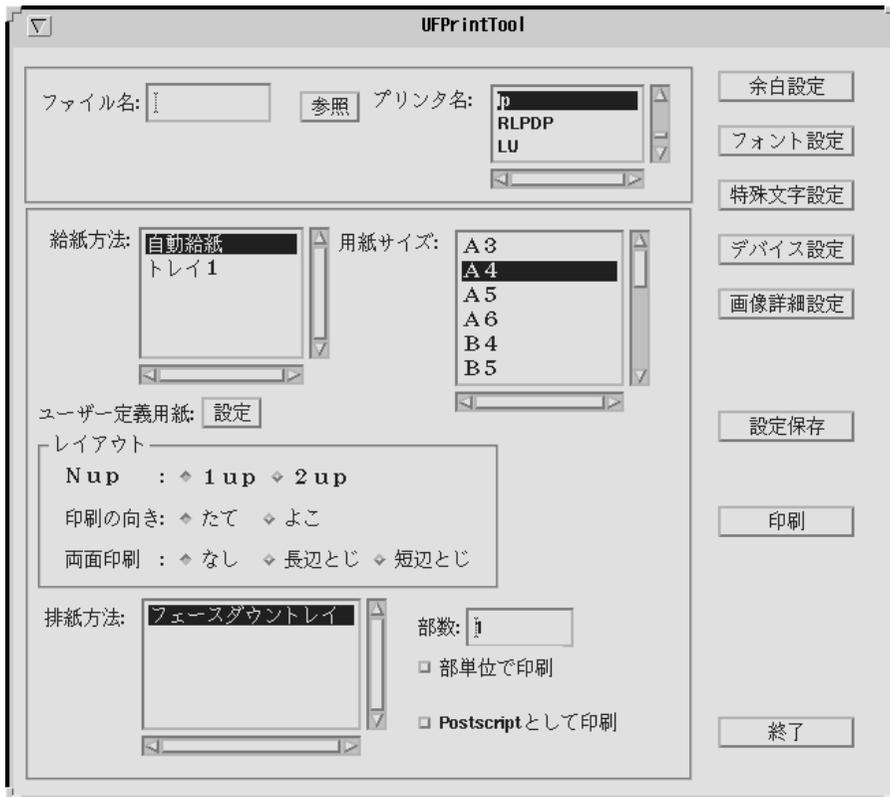
上記のアイコン登録の方法は、WindowMaker のみの登録方法です。他のウィンドウマネージャをご利用の場合は、お使いのウィンドウマネージャの各ドキュメントを参照してください。

3.3 簡単な印刷例 (SunOS 4.x/Linux/HP-UX の場合)

3.3.1 標準設定で印刷を行う場合

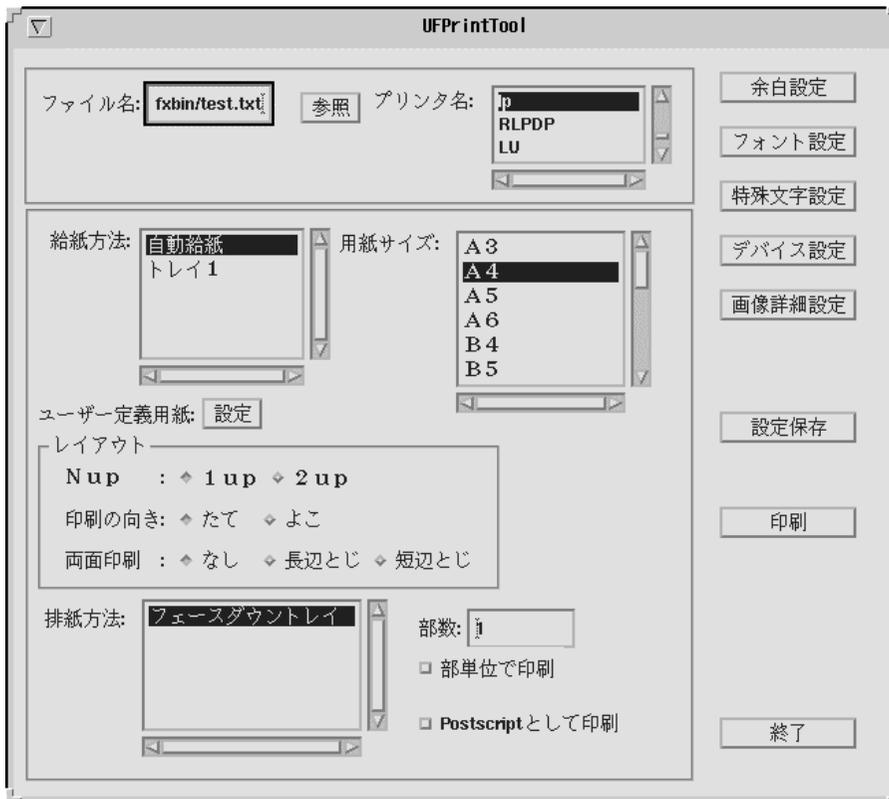
UFPrintTool を使用して印刷する簡単な手順を以下に示します。

- ① UFPrintTool を起動します
- ② UFPrintTool のメイン画面が起動されます。【図 2】



【図 2】

- ③ ファイル名入力テキストボックスにファイル名を入力します。【図 3】



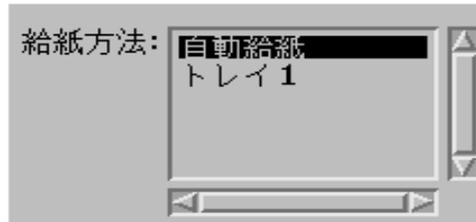
【図 3】

- ④ 印刷ボタンをクリックします。

これで、起動時の設定で印刷が行われます。各オプションの付加については、「第 4 章 各画面の機能説明 (SunOS 4.x/Linux/HP-UX)」、または「第 6 章 コマンドライン作成機能」を参照してください。

3.3.2 デバイスの設定を行って印刷する場合

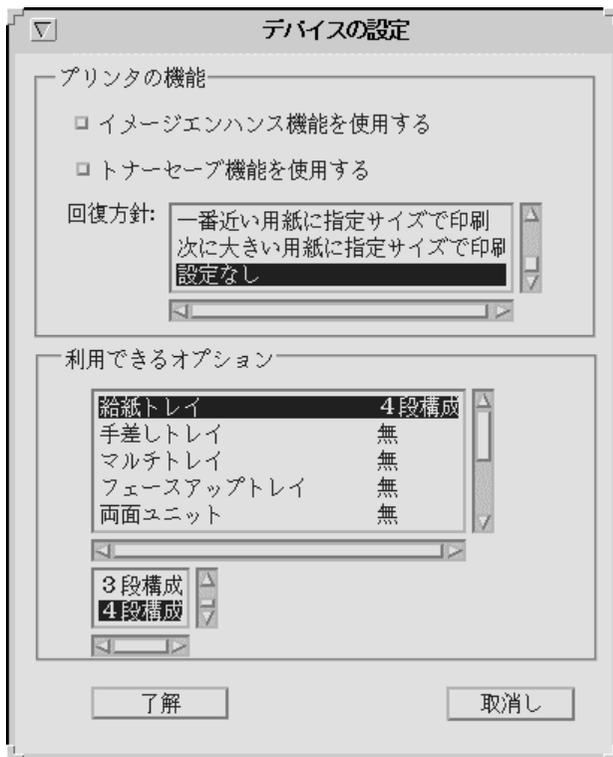
UFPrintTool ではプリンターの機能に合わせたデバイスの設定を行います。
<例：給紙トレイの段数が 4 段のプリンターでトレイ 4 から出力する>



【図 4】

メイン画面にて給紙方法選択リストボックスを開いた場合、出荷時の設定では給紙トレイの段数は 1 に設定されているためトレイ 4 は選択できません【図 4】。
そこで、以下の手順でトレイ 4 を選択できるようにします。

- ① デバイス設定画面を開き、給紙トレイの段数を変更します。【図 5】



【図 5】

- ② デバイス画面を「了解ボタン」で終了し、再度メイン画面の「給紙方法選択リストボックス」を開くと「トレイ 4」が選択可能となります。【図 6】



その他のデバイスオプションについても同様です。詳細は「第 4 章 各画面の機能説明 (SunOS 4.x/Linux/HP-UX)」を参照してください。

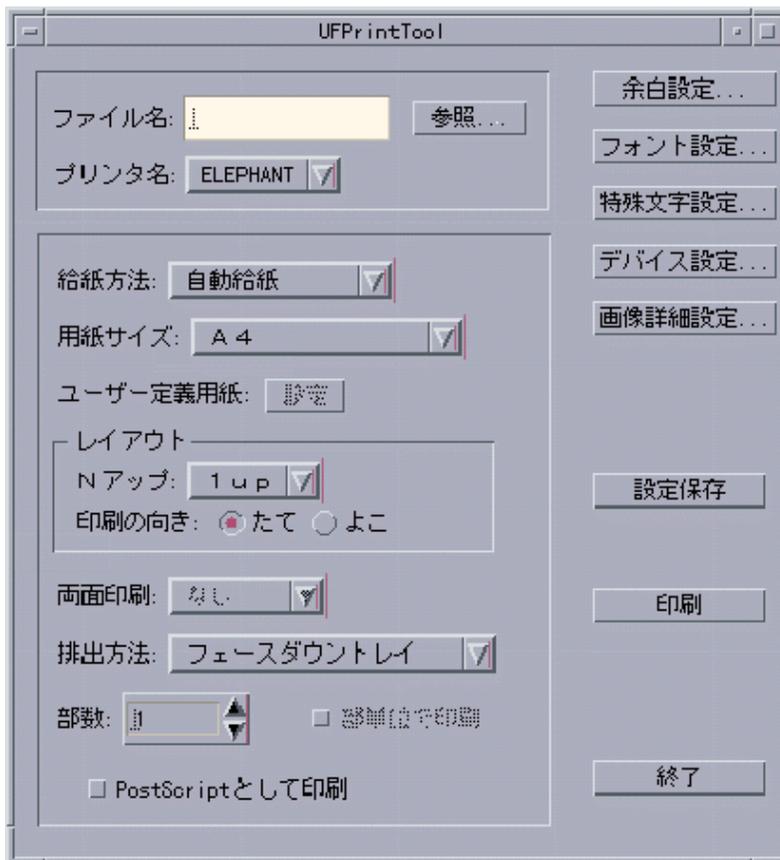
【図 6】

3.4 簡単な印刷例（Solaris の場合）

3.4.1 標準設定で印刷を行う場合

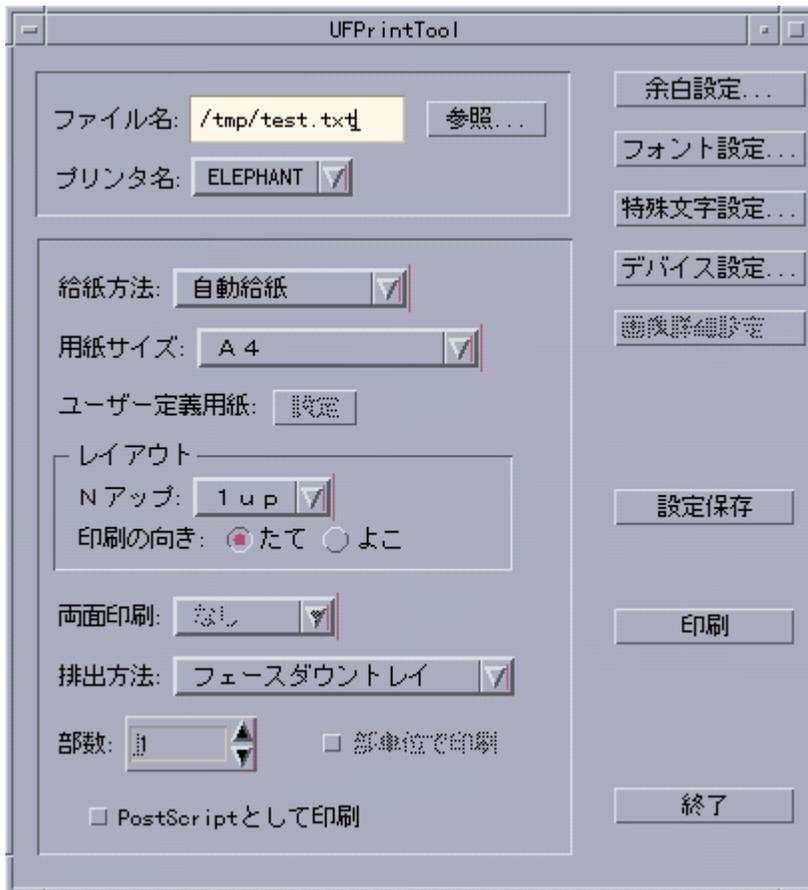
UFPrintTool を使用して印刷する簡単な手順を以下に示します。

- ① UFPrintTool を起動します
- ② UFPrintTool のメイン画面が起動されます。【図 7】



【図 7】

- ③ ファイル名入力テキストボックスにファイル名を入力します。【図8】



【図8】

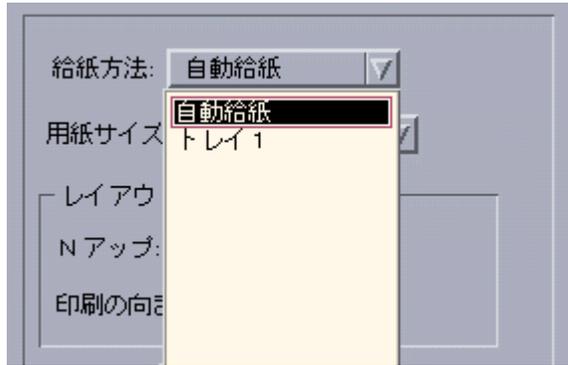
- ④ 印刷ボタンをクリックします。

これで、起動時の設定で印刷が行われます。各オプションの付加については、「第5章 各画面の機能説明(Solaris)」、または「第6章 コマンドライン作成機能」を参照してください。

3.4.2 デバイスの設定を行って印刷する場合

UFPrintTool ではプリンターの機能に合わせたデバイスの設定を行います。

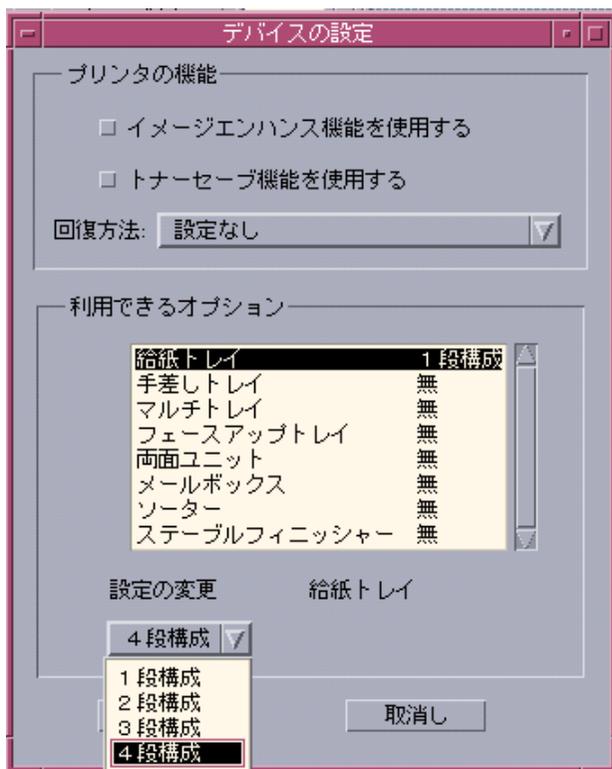
<例：給紙トレイの段数が4段のプリンターでトレイ4から出力する>



【図9】

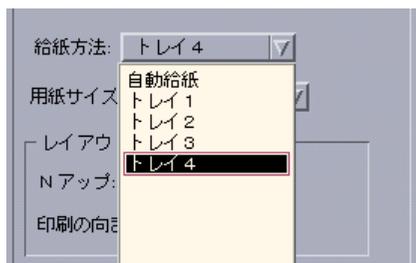
メイン画面にて給紙方法選択コンボボックスを開いた場合、出荷時の設定では給紙トレイの段数は1に設定されているためトレイ4は選択できません【図9】。そこで、以下の手順でトレイ4を選択できるようにします

- ① デバイス設定画面を開き、給紙トレイの段数を変更します。【図 10】



【図 10】

- ② デバイス画面を「了解ボタン」で終了し、再度メイン画面の「給紙方法選択コンボボックス」を開くと「トレイ 4」が選択可能となります。【図 11】



【図 11】

その他のデバイスオプションについても同様です。詳細は「第 5 章 各画面の機能説明 (Solaris)」を参照してください。

3.5 UFPrintTool の起動オプション

UFPrintTool の起動オプションの説明をします。

<実行形式>

```
/usr/local/sbin/ufptool [-PPRINTER]
```

<オプション>

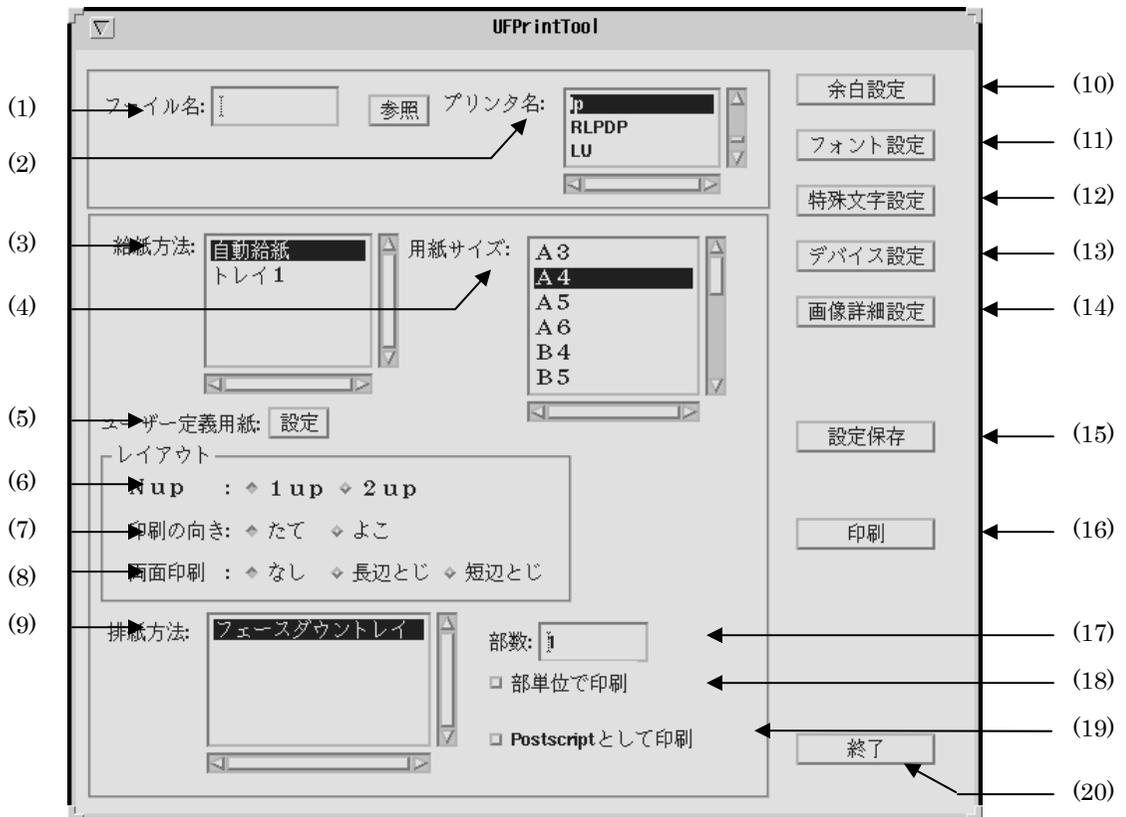
-P*PRINTER* 印刷するプリンターを指定します。保存したオプション内容を読み込む場合には必ず指定します。

(「第 8 章 設定保存ファイル」を参照してください)

第4章 各画面の機能説明 (SunOS 4.x/Linux/HP-UX)

4.1 メイン画面

UFPrintTool を起動した際、最初に起動されるウィンドウで、主に使用される機能を設定します。



【図 1】

(1) ファイル名入力テキストボックス、参照ボタン

印刷を行うファイル名を入力します。その際、参照ボタンを押下すると、ファイル選択ダイアログが開きます。ファイル選択ダイアログについては「4.2 ファイル選択画面」を参照してください。

なお、印刷可能なファイル形式は以下の通りです。これ以外の形式のファイルを選択した場合はすべてテキストファイルとして扱います。初期表示はありません。

- テキストファイル
- SunRaster 形式イメージファイル (SunOS 4.x のみ)
- XWD 形式イメージファイル
- TIFF 形式イメージファイル
- ポストスクリプトファイル
- PDF 形式ファイル(Linux のみ。また、Ghostscript がインストールされている必要があります。pdf2ps コマンドで変換できない pdf ファイルは印刷できません。)

(2) プリンター名選択リストボックス

印刷を行うプリンターを選択します。現在システムに登録されているプリンター名が検索され、リストアップされています。初期状態では現在デフォルトに設定してあるプリンターか、起動時のオプションで指定したプリンターが選択されています。

(SunOS/Linux) (※HP-UX の場合、初期表示は現在デフォルトに設定してあるプリンターです)。デフォルトプリンターが設定されていない場合には最初に見つかったプリンター名を表示します。

(3) 給紙方法選択リストボックス

給紙方法を選択します。(プリンターによって使用できない項目があります。)

デフォルトは「自動給紙」です。

「自動給紙」	トレイを自動選択します。「(4) 用紙サイズ」で指定した用紙のトレイから給紙されます。
「手差しトレイ」	手差しトレイから給紙を行います。
「トレイ 1」	トレイ 1 から給紙します。
「トレイ 2」	トレイ 2 から給紙します。
「トレイ 3」	トレイ 3 から給紙します。
「トレイ 4」	トレイ 4 から給紙します。
「マルチトレイ 1」	マルチトレイ 1 から給紙します。
「マルチトレイ 2」	マルチトレイ 2 から給紙します。
「マルチトレイ 3」	マルチトレイ 3 から給紙します。

(4) 用紙サイズ設定リストボックス

用紙サイズを選択します。(プリンターによって使用できない項目があります。)

Mono2 用は、「A3」、「A4」、「A5」、「B4」、「B5」、「レター」、「レジャー」、「フォリオ」、「リーガル」、「ステートメント」、「Executive」、「ハガキ」、「COM10」、「Monarc」、「DL」、「C5」、「封筒洋形 4 号」、「ユーザー定義用紙 1」、「ユーザー定義用紙 2」、「ユーザー定義用紙 3」を選択できます。ただし、「(3) 給紙方法」で直接トレイを選択した場合、このオプションは無効です。デフォルトは「A4」です。長尺紙 297x900mm と 210x900mm はユーザー定義用紙を設定して指定ください。

Mono 用は、「A3」、「A4」、「A5」、「A6」、「B4」、「B5」、「B6」、「レター」、「レジャー」、「フォリオ」、「リーガル」、「ステートメント」、「ハガキ」、「COM10」、「Monarc」、「DL」、「C5」、「八開」、「封筒長型 3 号」、「長尺紙」、「ユーザー定義用紙 1」、「ユーザー定義用紙 2」、「ユーザー定義用紙 3」を選択できます。ただし、「(3) 給紙方法」で直接トレイを選択した場合、このオプションは無効です。デフォルトは「A4」です。

注記 ▶ デバイス設定、給紙方法の設定により、選択可能な用紙サイズが変わります。

(5) ユーザー定義用紙設定画面起動ボタン

ユーザー定義用紙設定画面を起動します。「(4) 用紙サイズ設定」で「ユーザー定義用紙 1~3」を選択している場合のみ有効です。(「4.8 ユーザー定義用紙設定画面」を参照してください)

注記 ▶ DocuPrint 201PS および Mono2 用です。

(6) Nup 選択ラジオボタン

N 段組を選択します。「1up」と「2up」が選択できます。デフォルトは「1up」です。

(7) 印刷方向選択ラジオボタン

印刷する向きを選択します。「たて」、「よこ」が選択できます。デフォルトは「たて」です。

(8) 両面印刷指定ラジオボタン

両面印刷の方法を選択します。「なし」、「長辺とじ」、「短辺とじ」を選択できます。デフォルトは「なし」です。

(9) 排紙方法選択リストボックス

排紙方法を選択します。(プリンターによって使用できない項目があります。) デフォルトは「フェースダウン」です。

「フェースダウントレイ」	フェースダウントレイに排紙します。
「フェースアップトレイ」	フェースアップトレイに排紙します。
「メールボックス ビン N」	メールボックスのビン N に排紙します。
「ソーター N部」	ソーターに N部コピーして排紙します。
「フィニッシャー (自動)」	ステープルフィニッシャー排紙先を自動選択します。
「フィニッシャー ビン N」	ステープルフィニッシャーのビン N に出力します。
「オフセット排出トレイ」	オフセット排出トレイに排紙します。

注記 ▶ 機種によっては以下のように読み替えてください

センタートレイ	▶ フェースダウントレイ
サイドトレイ	▶ フェースアップトレイ
リアトレイ	▶ フェースアップトレイ
スタックカートレイ	▶ フィニッシャー

(10) 余白設定ボタン

余白設定画面を開きます。(「4.3 余白設定画面」を参照してください)

(11) フォント設定ボタン

フォントの設定を行います。(「4.4 フォント設定画面」を参照してください)

(12) 特殊文字設定ボタン

特殊文字の設定を行います。(「4.6 特殊文字設定画面」を参照してください)

(13) デバイス設定ボタン

プリンター固有の機能を設定します。(「4.7 デバイス設定画面」を参照してください)

(14) 画像詳細設定ボタン

イメージファイル固有のオプションを設定します。(「4.5 画像詳細設定画面」を参照してください)

(15) 設定保存ボタン

現在設定されている内容を保存します。詳細は「第 8 章 設定保存ファイル」を参照してください。

(16) 印刷ボタン

現在設定されているオプションで印刷を行います。

(17) 部数指定テキストボックス

印刷する部数を設定します。デフォルトは 1 です。

(18) 電子ソート選択チェックボックス

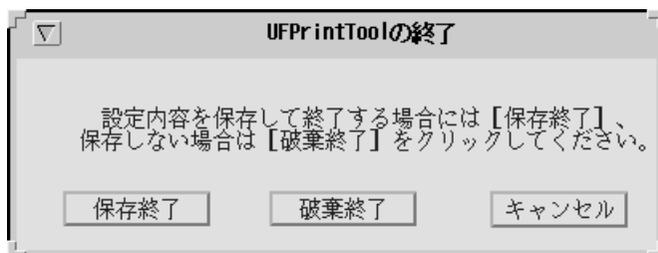
部単位での印刷を行います。「4.7 デバイス設定画面」でハードディスクが「有」に設定されていて、「(17) 部数指定」で 2 以上を指定している場合のみ有効です。デフォルトは「OFF」です。

(19) 強制ポストスクリプト処理選択チェックボックス

入力されるファイルをポストスクリプトとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を付加します。(SunOS 4.X のみ)

(20) 終了ボタン

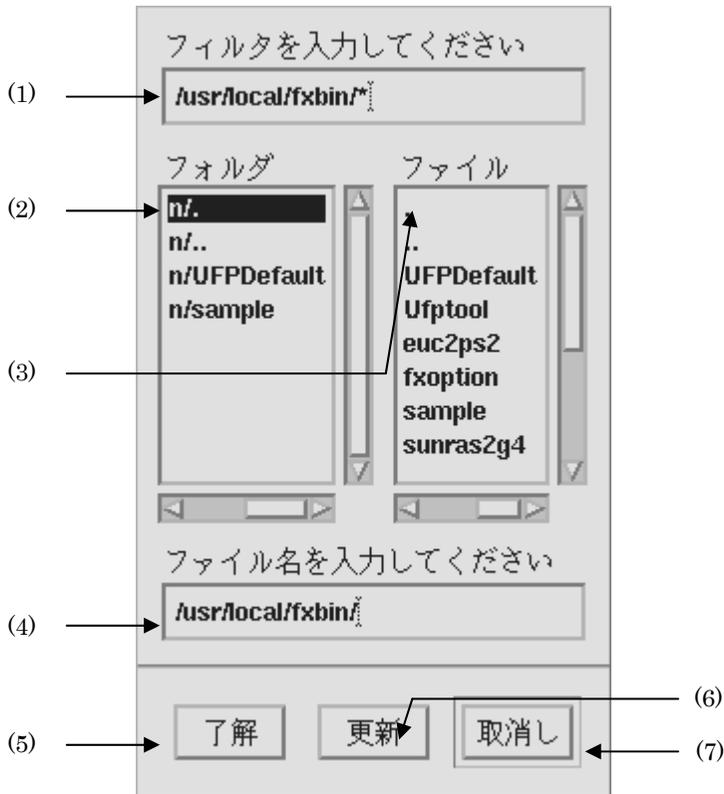
UFPrintTool を終了します。ボタン押下すると終了ダイアログが表示され (図 2)、「保存終了」、「破棄終了」、「キャンセル」の 3 つを選択できます。



【図 2】

4.2 ファイル選択画面

メイン画面のファイル名入力テキストボックス参照ボタンをクリックしたときに起動されるウィンドウで、印刷するファイルを選択します。



【図 3】

(1) フィルター入力テキストボックス

フィルターを入力します。「*」、「?」のワイルドカードが使用可能です。「(6) 更新ボタン」をクリックすると「(2) フォルダ選択リストボックス」、「(3) ファイル選択リストボックス」の内容が更新されます。

(2) フォルダ選択リストボックス

「(1) フィルター入力テキストボックス」にて指定されたディレクトリ下のディレクトリを表示します。また、表示されているフォルダをダブルクリックするとそのフォルダに移動し、「(3) ファイル選択リストボックス」が更新されます。

(3) ファイル選択リストボックス

「(1) フィルター入力テキストボックス」にて指定されたディレクトリ下のファイルを表示します。また、表示されているファイルをダブルクリックするとそのファイルが「(4) ファイル名入力テキストボックス」に絶対パスで表示されます。

(4) ファイル名入力テキストボックス

「(3) ファイル選択リストボックス」にて指定されたファイルを絶対パスで表示します。
また、直接ファイル名を入力した場合にはアクティブが他のコントロールに移ったときにパス名が付加されます。

(5) 了解ボタン

「(4) ファイル名入力テキストボックス」にて指定されたファイルをメイン画面のファイル名入力テキストボックスに絶対パスで表示します。

(6) 更新ボタン

「(1) フィルター入力テキストボックス」にて指定されたフィルターより、「(2) フォルダ選択リストボックス」、「(3) ファイル選択リストボックス」を更新します。

(7) 取消しボタン

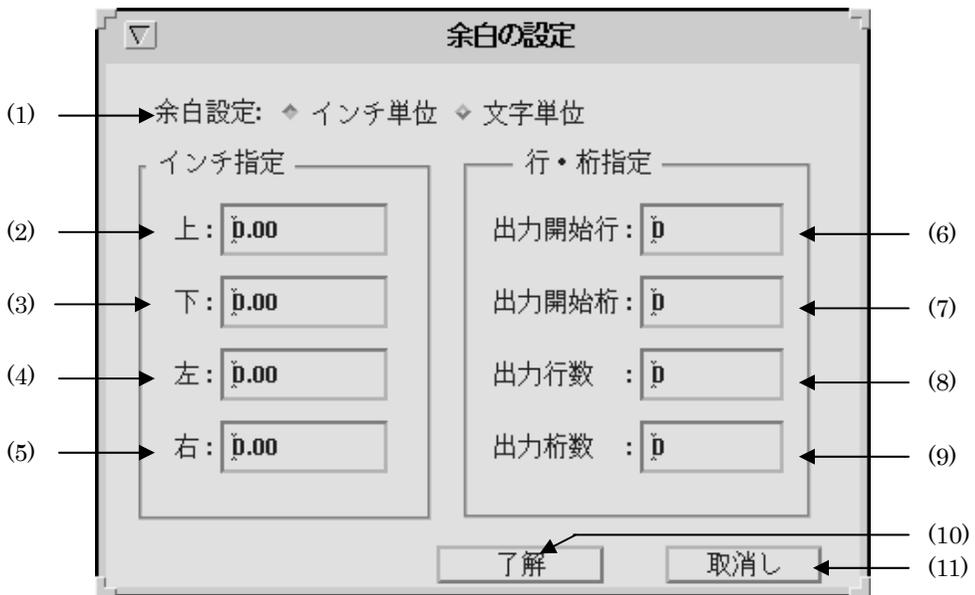
ファイルを選択せずにファイル選択ダイアログを終了します。

注記 ▶

「(4) ファイル名入力テキストボックス」には、必ずファイル名を入力してください。ディレクトリを指定した場合は、エラーメッセージが出力されます。

4.3 余白設定画面

インチ単位または文字単位での余白の設定を行います。テキストファイルを指定した場合のみ有効です。



【図 4】

余白設定はいずれも設定値「0」でプリンターの最大印刷可能領域に印刷をするように設定してあります。従って余白設定で設定する値は「用紙の端」からではなく「プリンターの最大印刷可能範囲」からの値になります。

(1) 余白設定選択ラジオボタン

余白設定方法を選択します。「インチ単位」と「文字単位」が選択できます。

「インチ単位」を指定した場合には(2)～(5)のテキストボックスへの入力が可能です。

その場合、(6)～(9)のテキストボックスはインアクティブとなり入力できません。

「文字単位」を指定した場合には(6)～(9)のテキストボックスへの入力が可能です。その場合、(2)～(5)のテキストボックスはインアクティブとなり入力できません。

(2) 上マージン指定テキストボックス

余白上マージンをインチ単位で指定します。最大値は 20、最小値は 0 です。小数点第 2 位までの入力が可能です。デフォルトは 0 に設定されています。

(3) 下マージン指定テキストボックス

余白下マージンをインチ単位で指定します。最大値は 20、最小値は 0 です。小数点第 2 位までの入力が可能です。デフォルトは 0 に設定されています。

(4) 左マージン指定テキストボックス

余白左マージンをインチ単位で指定します。最大値は 20、最小値は 0 です。小数点第 2 位までの入力が可能です。デフォルトは 0 に設定されています。

(5) 右マージン指定テキストボックス

余白右マージンをインチ単位で指定します。最大値は 20、最小値は 0 です。小数点第 2 位までの入力が可能です。デフォルトは 0 に設定されています。

(6) 出力開始行指定テキストボックス

余白上マージンを行単位で指定します。入力可能な最大値は 200、最小値は 0 です。小数は入力できません。デフォルトは 0 に設定されています。

(7) 出力開始桁指定テキストボックス

余白左マージンを桁単位で指定します。入力可能な最大値は 200、最小値は 0 です。小数は入力できません。デフォルトは 0 に設定されています。

(8) 出力行数指定指定テキストボックス

余白下マージンを 1 ページあたりの出力行数を設定する事で指定します。「(6) 出力開始行指定テキストボックス」で指定した行数と、合計した値が印刷可能行数に収まる値を設定してください。入力可能な最大値は 200、最小値は 0 です。小数は入力できません。

0 を指定した場合には、用紙サイズを考慮して印字可能な範囲に収まる値の自動計算を行います。デフォルトは 0 です。

注記 ▶ 用紙の印刷可能行数を超えた値を設定した場合には、用紙からはみ出した分の行は印刷されません。

(9) 出力桁数指定テキストボックス

余白右マージンを半角文字で 1 行あたりの出力桁数を設定する事で指定します。「(7) 出力開始桁指定テキストボックス」で指定した桁数と、合計した値が印刷可能桁数に収まる値を設定してください。入力可能な最大値は 200、最小値は 0 です。小数は入力できません。

0 を指定した場合には、用紙サイズを考慮して印字可能な範囲に収まる値の自動計算を行います。デフォルトは 0 です。

注記 ▶ 用紙の印刷可能桁数を超えた値を設定した場合には、用紙からはみ出した分の行は印刷されません。

(10) 了解ボタン

設定内容を反映させ、余白設定画面を終了します。

(11) 取消しボタン

設定内容を破棄して、余白設定画面を終了します。

注記 ▶

「(8) 出力行数指定テキストボックス」で指定した行数が用紙をはみ出す場合、その分の行は印刷されません。

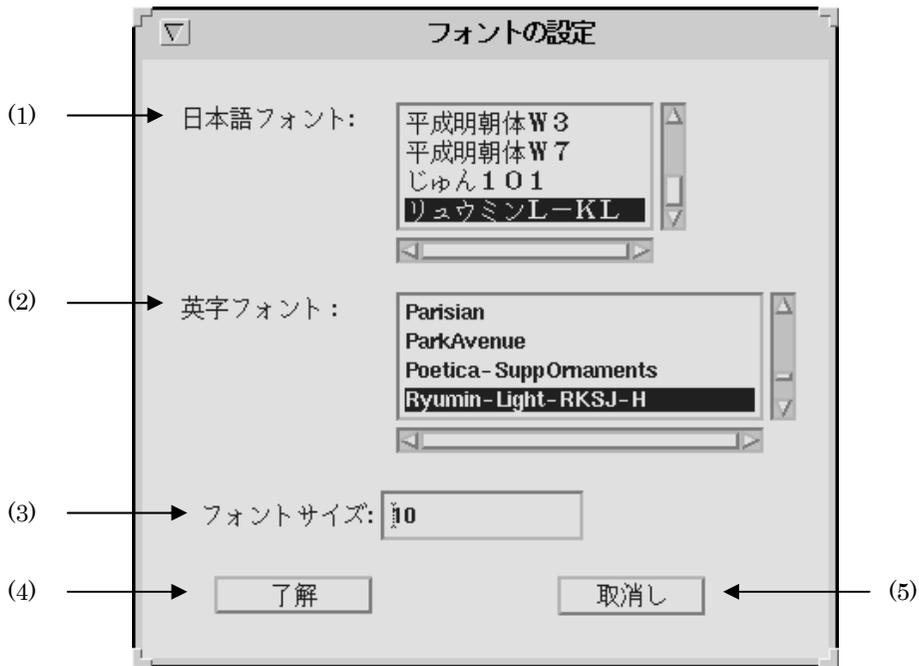
(例) 印刷可能行数が 80 行の用紙に出力開始行を 10、出力行数を 80 に指定して印刷した場合、印刷位置 10 行目から 70 行出力されます。残りの 10 行は出力されません。

「(9) 出力桁数指定テキストボックス」で指定した桁数が用紙をはみ出す場合、その分の桁は印刷されません。

(例) 印刷可能桁数が 100 桁の用紙に出力開始桁を 10、出力桁数を 120 に指定して印刷した場合、印刷位置 10 桁目から 90 桁出力されます。残りの 30 桁は出力されません。

4.4 フォント設定画面

英字フォント、日本語フォントの選択および、フォントサイズの設定を行います。テキストファイルを指定した場合のみ有効です。



【図 5】

(1) 日本語フォント選択リストボックス

日本語フォントを選択します。使用できるフォントについては『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。デフォルトは「リュウミンライト」です。

(2) 英字フォント選択リストボックス

英字フォントを選択します。使用できるフォントについては『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。デフォルトは「リュウミンライト」です。

(3) フォントサイズ設定テキストボックス

フォントサイズを設定します。単位はポイントです。最大値は 100、最小値 1 です。デフォルトは 10 に設定されています。

(4) 了解ボタン

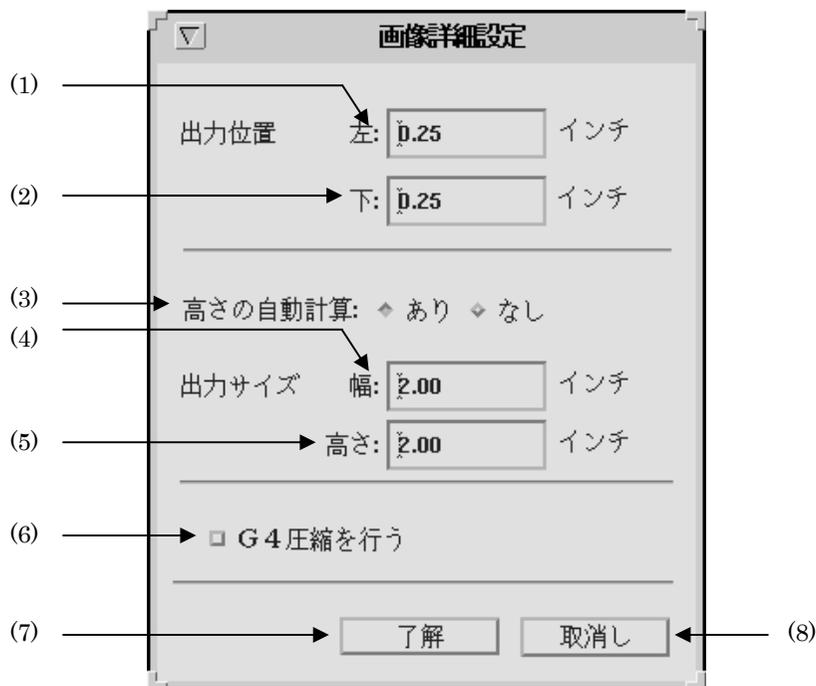
設定内容を反映させ、フォント設定画面を終了します。

(5) 取消しボタン

設定内容を破棄して、フォント設定画面を終了します。

4.5 画像詳細設定画面

出力位置、出力サイズ、画像圧縮オプションの設定を行います。イメージファイル印刷時のみ有効です。



【図6】

出力位置指定は、用紙の左下を基準とします。

(1) 出力位置（左）設定テキストボックス

左からの出力位置をインチ単位で設定します。最大値は20、最小値は0です。小数点第2位まで指定できます。デフォルトは0.25です。

(2) 出力位置（下）設定テキストボックス

下からの出力位置をインチ単位で設定します。最大値は20、最小値は0です。小数点第2位まで指定できます。デフォルトは0.25です。

(3) 高さ自動計算選択ラジオボタン

出力幅にあわせた出力高さの自動計算「あり」、「なし」を選択します。「あり」を選択した場合には「(4) 出力サイズ（幅）設定テキストボックス」で設定した幅に合わせて高さの自動計算を行います。その場合、「(5) 出力サイズ（高さ）設定テキストボックス」はインアクティブとなります。デフォルトは「あり」に設定されています。

(4) 出力サイズ（幅）設定テキストボックス

出力幅をインチ単位で設定します。最大値は 20、最小値は 0 です。小数点第 2 位まで指定できます。0 を設定した場合には出力サイズ（幅・高さ）は無視されます。デフォルトは 2 です。

(5) 出力サイズ（高さ）設定テキストボックス

出力高さをインチ単位で設定します。最大値は 20、最小値は 0 です。0 を設定した場合には出力サイズ（幅・高さ）は無視されます。小数点第 2 位まで指定できます。デフォルトは 2 です。

(6) G4 圧縮設定チェックボックス

CCITT グループ G4 圧縮の実行を設定します。デフォルトは OFF です。

(7) 了解ボタン

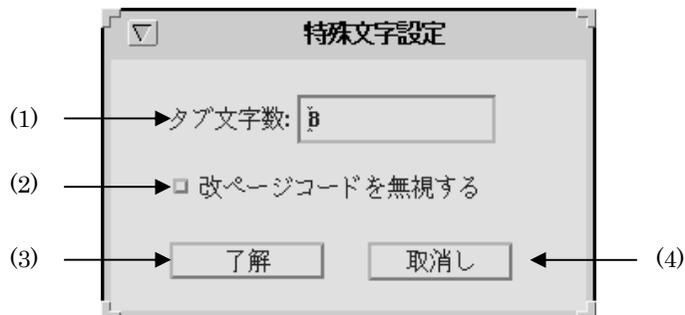
設定内容を反映させ、画像詳細画面を終了します。

(8) 取消しボタン

設定内容を破棄して、画像詳細画面を終了します。

4.6 特殊文字設定画面

タブ文字数の設定、改ページコード（FF）の制御を設定します。テキストファイル指定時のみ有効です。



【図 7】

(1) タブ文字数設定テキストボックス

水平タブを半角文字に換算して入力値数の空白に置き換えます。最大値は 100、最小値は 0 です。デフォルトは 8 に設定されています。

(2) 改ページコード（FF）無視チェックボックス

改ページコードを無視します。デフォルトは OFF です。

(3) 了解ボタン

設定内容を反映させ、特殊文字設定画面を終了します。

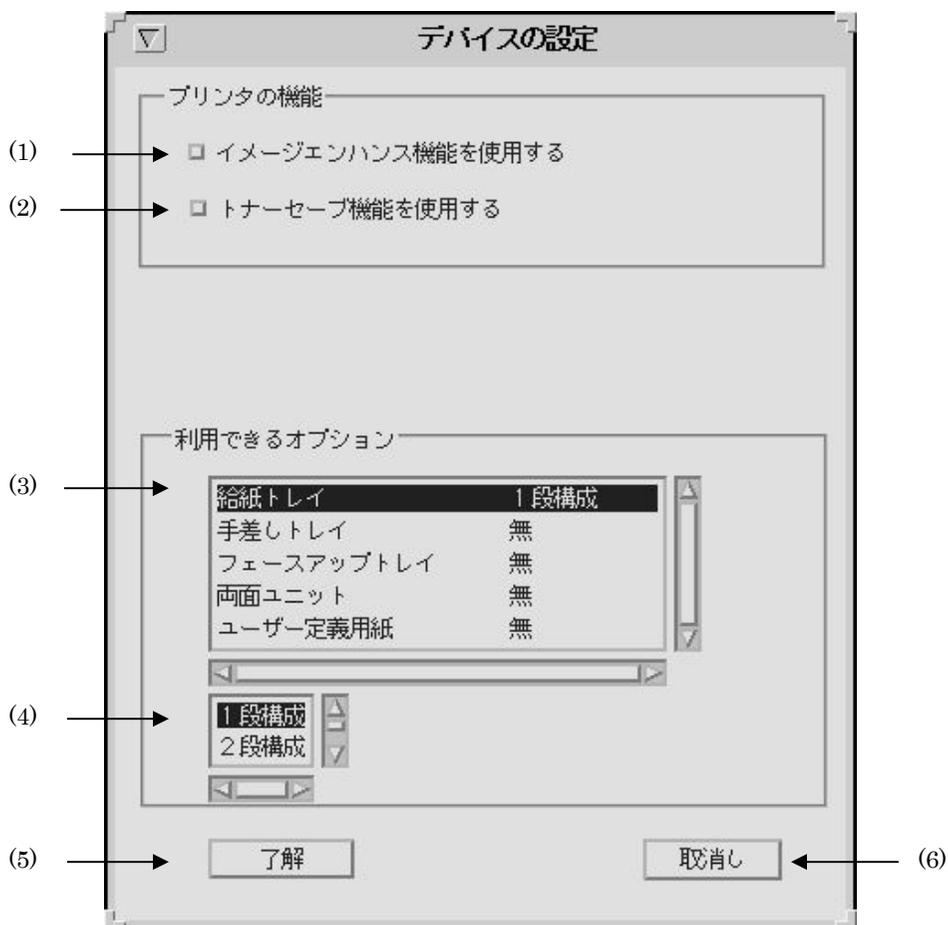
(4) 取消しボタン

設定内容を破棄して、特殊文字設定画面を終了します。

4.7 デバイス設定画面

プリンター固有の機能を設定します。

4.7.1 Mono2 の場合



【図 8】

注記 ▶ プリンタ機種によっては以下のように読み替えてください。

センタートレイ ▶ フェースダウントレイ

サイドトレイ ▶ フェースアップトレイ

リアトレイ ▶ フェースアップトレイ

両面モジュール ▶ 両面ユニット

(1) イメージエンハンス設定チェックボックス

イメージエンハンス機能を使用します。デフォルトは OFF です。

(2) トナーセーブ設定チェックボックス

トナーセーブ機能を使用します。デフォルトは OFF です。

(3) プリンターオプション選択リストボックス

プリンターオプションの一覧を表示します。各プリンターオプションの現在の設定状態も合わせて表示します。ここでプリンターオプションを選択すると、「(4) プリンターオプション設定リストボックス」の選択項目が変更されます。

(4) プリンターオプション設定リストボックス

プリンターオプションを設定します。「(4) プリンターオプション選択リストボックス」で選択しているプリンターオプションに対して設定を行います。オプションとその設定できる値は下記の通りです。

オプション	意味	設定可能な値	デフォルト
給紙トレイ	自動給紙トレイの段数を指定します	1 段構成、2 段構成、3 段構成、4 段構成	1 段構成
手差しトレイ	手差しトレイの有無を設定します	有、無	無
フェースアップトレイ	フェースアップトレイの有無を設定します	有、無	無
両面ユニット	両面印刷ユニットの有無を設定します	有、無	無
ユーザー定義用紙	ユーザー定義用紙の有無を設定します	有、無	無

設定を変更した場合、関連するコントロールの表示はデフォルト値に戻ります。関連するコントロールについては「第 7 章 オプションの競合」を参照してください。

(例) メイン画面にて給紙方法をトレイ 4 に設定し、デバイス設定画面にて給紙トレイを 2 段構成に変更した場合

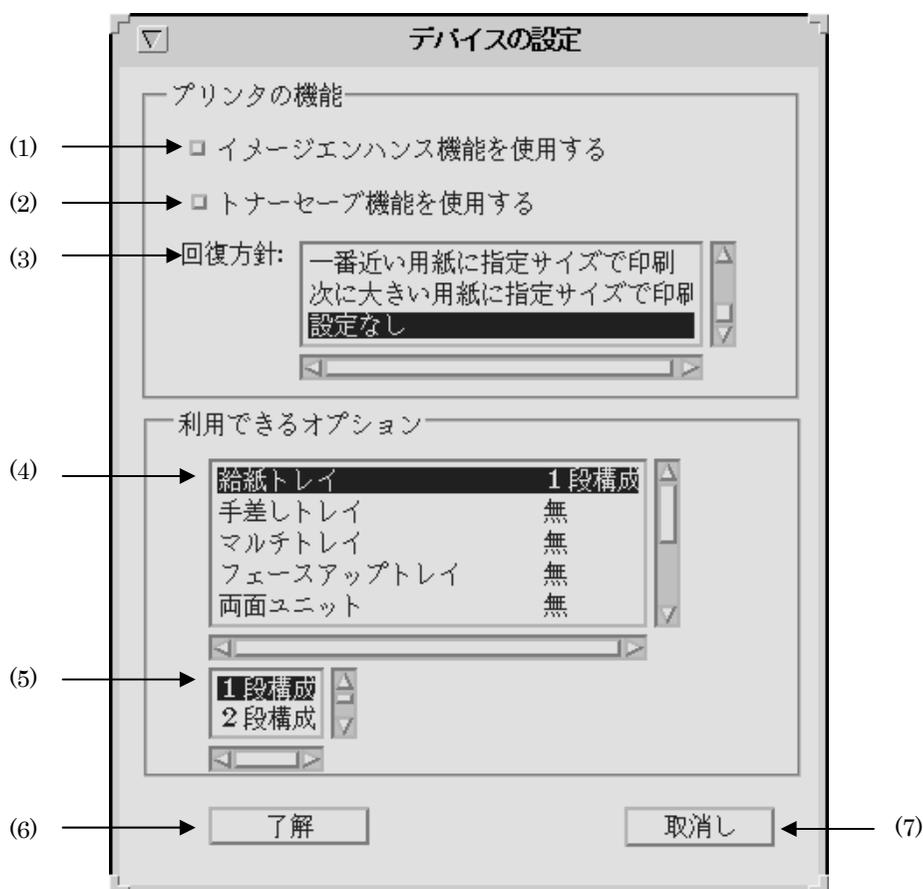
(5) 了解ボタン

設定内容を反映させ、デバイス設定画面を終了します。

(6) 取消しボタン

設定内容を破棄して、デバイス設定画面を終了します。

4.7.2 Monoの場合



【図 9】

注記 ▶ プリンタ機種によっては以下のように読み替えてください。

センタートレイ ▶ フェースダウントレイ

サイドトレイ ▶ フェースアップトレイ

両面モジュール ▶ 両面ユニット

(1) イメージエンハンス設定チェックボックス

イメージエンハンス機能を使用します。デフォルトは OFF です。

(2) トナーセーブ設定チェックボックス

トナーセーブ機能を使用します。デフォルトは OFF です。

(3) 回復方法選択リストボックス

Laser Press 2100PS と DocuPrint 201PS でのみ使用します。

要求された用紙サイズが使用可能な用紙のいずれにも該当しない場合の回復方針を選択します。以下の 8 種類の回復方針を選択できますが、「用紙補給を 180 秒待機」、または「一番近い用紙に拡大・縮小印刷」を選択される事をお薦めします。また、上記のプリンター以外をご使用の場合は「設定なし」を選択してください。デフォルトは「設定なし」です。

「印刷を中止しエラーを出力」

印刷が中止されエラーを生成します。

「用紙サイズを無視して印刷」

指定した用紙サイズを無視して印刷します。

「用紙補給を 180 秒待機」

指定したサイズの用紙がない場合に用紙の補給を待機します。Laser Press 2100PS では 180 秒間補給されなかった場合、印刷が中止されエラーが生成されます。DocuPrint 201PS では用紙が補給されるまで待機し続けます。

「一番近い用紙に拡大・縮小印刷」

指定したサイズの用紙がトレイに存在しない場合、一番近いものを選択し拡大・縮小して印刷します。

「次に大きい用紙に拡大印刷」

指定したサイズの用紙がトレイに存在しない場合、次に大きいものを選択し拡大して印刷します。

「一番近い用紙に指定サイズで印刷」

指定したサイズの用紙がトレイに存在しない場合、一番近いものを選択して印刷しますが指定した用紙サイズ用のサイズで印刷します。

「次に大きい用紙に指定サイズで印刷」

指定したサイズの用紙がトレイに存在しない場合、次に大きいものを選択しますが指定した用紙サイズ用のサイズで印刷します。回復方針を設定しません。

「設定なし」

(4) プリンターオプション選択リストボックス

プリンターオプションの一覧を表示します。各プリンターオプションの現在の設定状態も合わせて表示します。ここでプリンターオプションを選択すると、「(5) プリンターオプション設定リストボックス」の選択項目が変更されます。

(5) プリンターオプション設定リストボックス

プリンターオプションを設定します。「(4) プリンターオプション選択リストボックス」で選択しているプリンターオプションに対して設定を行います。オプションとその設定できる値は下記の通りです。

オプション	意味	設定可能な値	デフォルト
給紙トレイ	自動給紙トレイの段数を指定します	1段構成、2段構成、3段構成、4段構成	1段構成
手差しトレイ	手差しトレイの有無を設定します	有、無	無
マルチトレイ	マルチトレイの有無を設定します	有、無	無
フェースアップトレイ	フェースアップトレイの有無を設定します	有、無	無
両面ユニット	両面印刷ユニットの有無を設定します	有、無	無
メールボックス	メールボックスの有無を設定します	有、無	無
ソーター	ソーターの有無を設定します	有、無	無
ステーブルフィニッシャー	ステーブルフィニッシャーの有無を設定します	有、無	無
ハードディスク	ハードディスクの有無を設定します	有、無	無
ユーザー定義用紙	ユーザー定義用紙の有無を設定します	有、無	無

設定を変更した場合、関連するコントロールの表示はデフォルト値に戻ります。関連するコントロールについては「第7章 オプションの競合」を参照してください。

(例) メイン画面にて給紙方法をトレイ4に設定し、デバイス設定画面にて給紙トレイを2段構成に変更した場合

(6) 了解ボタン

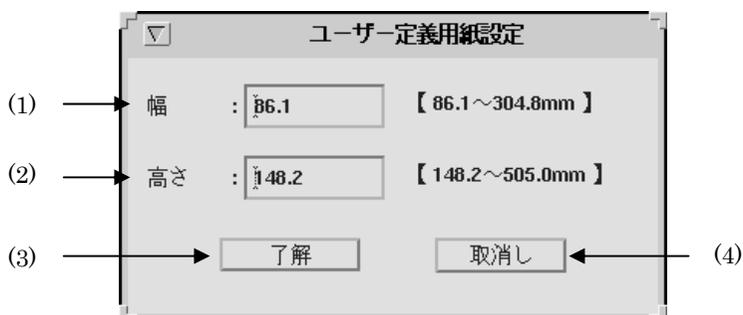
設定内容を反映させ、デバイス設定画面を終了します。

(7) 取消しボタン

設定内容を破棄して、デバイス設定画面を終了します。

4.8 ユーザー定義用紙設定画面

ユーザー定義用紙の幅、高さの設定をします。



【図 10】

注記 ▶ DocuPrint 201PS および Mono2 用です。

(1) 幅設定テキストボックス

用紙の幅をミリ単位で設定します。小数点第 1 位まで指定できます。
デフォルトは 86.1 です。

Mono 用の場合

使用可能範囲は 86.1～304.8mm

Mono2 用の場合

使用可能範囲は 76.2～304.8mm

(2) 高さ設定テキストボックス

用紙の高さをミリ単位で設定します。小数点第 1 位まで指定できます。
デフォルトは 148.2 です。

Mono 用の場合

使用可能範囲は 148.2～505.0mm

Mono2 用の場合

使用可能範囲は 98.4～508.0mm

長尺紙用として 900mm を指定可能

(3) 了解ボタン

設定内容を反映させ、ユーザー定義用紙設定画面を終了します。

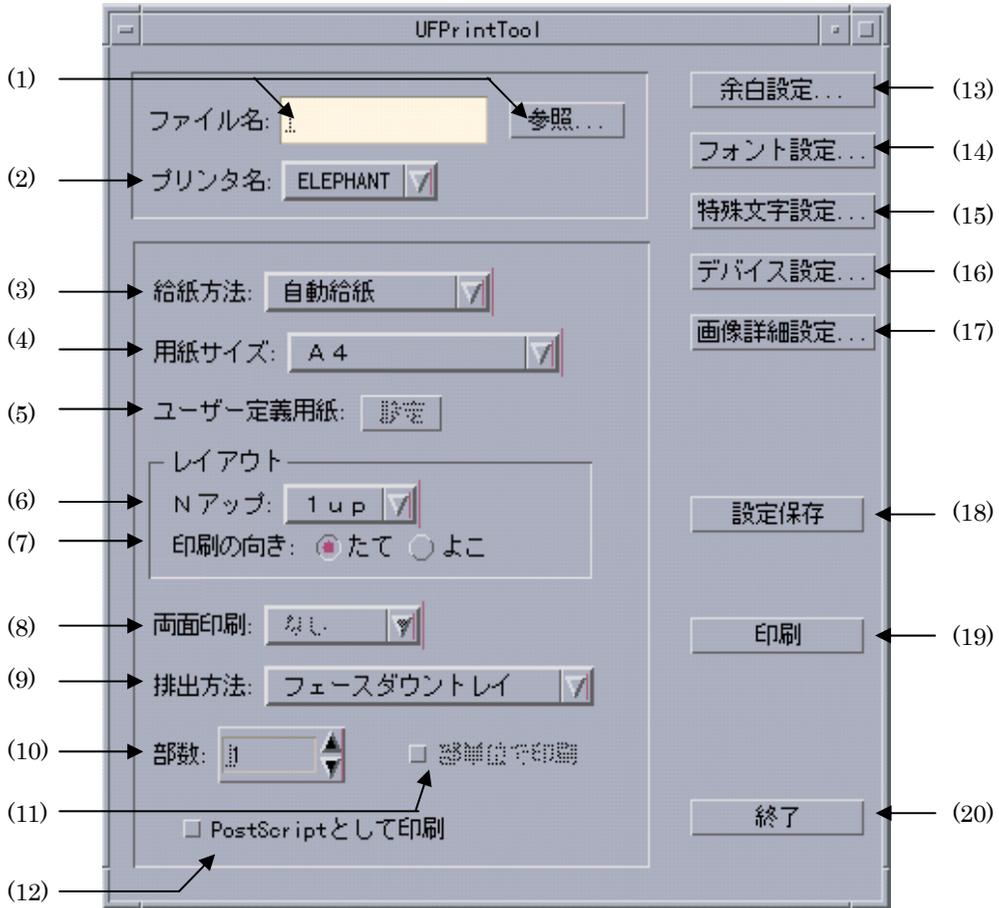
(4) 取消しボタン

設定内容を破棄して、ユーザー定義用紙設定画面を終了します。

第5章 各画面の機能説明 (Solaris)

5.1 メイン画面

UFPrintTool を起動した際、最初に起動されるウィンドウで、主に使用される機能を設定します。



【図 1】

(1) ファイル名入力テキストボックス、参照ボタン

印刷を行うファイル名を入力します。その際、参照ボタンを押下すると、ファイル選択ダイアログが開きます。ファイル選択ダイアログについては「5.2 ファイル選択画面」を参照してください。

なお、印刷可能なファイル形式は以下の通りです。これ以外の形式のファイルを選択した場合はすべてテキストファイルとして扱います。初期表示はありません。

- テキストファイル
- SunRaster 形式イメージファイル
- TIFF 形式イメージファイル
- XWD 形式イメージファイル
- ポストスクリプトファイル

(2) プリンター名選択コンボボックス

印刷を行うプリンターを選択します。その際、コンボボックスを押下すると、現在システムに登録されているプリンター名を検索しリストアップします。初期表示は現在デフォルトに設定してあるプリンターです。デフォルトプリンターが設定されていない場合には最初に見つかったプリンター名を表示します。

(3) 給紙方法選択コンボボックス

給紙方法を選択します。(プリンターによって使用できない項目があります。)

デフォルトは「自動給紙」です

「自動給紙」	トレイを自動選択します。「(4) 用紙サイズ」で指定した用紙のトレイから給紙されます。
「手差しトレイ」	手差しトレイから給紙を行います。
「トレイ 1」	トレイ 1 から給紙します。
「トレイ 2」	トレイ 2 から給紙します。
「トレイ 3」	トレイ 3 から給紙します。
「トレイ 4」	トレイ 4 から給紙します。
「マルチトレイ 1」	マルチトレイ 1 から給紙します。
「マルチトレイ 2」	マルチトレイ 2 から給紙します。
「マルチトレイ 3」	マルチトレイ 3 から給紙します。

(4) 用紙サイズ設定コンボボックス

用紙サイズを選択します。(プリンターによって使用できない項目があります。)

Mono2 用は、「A3」、「A4」、「A5」、「B4」、「B5」、「レター」、「レジャー」、「フォリオ」、「リーガル」、「ステートメント」、「Executive」、「ハガキ」、「COM10」、「Monarc」、「DL」、「C5」、「封筒洋形 4 号」、「ユーザー定義用紙 1」、「ユーザー定義用紙 2」、「ユーザー定義用紙 3」を選択できます。ただし、「(3) 給紙方法」で直接トレイを選択した場合、このオプションは無効です。デフォルトは「A4」です。長尺紙 297x900mm と 210x900mm は長尺紙はユーザー定義用紙を設定して指定ください。

Mono 用は、「A3」、「A4」、「A5」、「A6」、「B4」、「B5」、「B6」、「レター」、「レジャー」、「フォリオ」、「リーガル」、「ステートメント」、「ハガキ」、「COM10」、「Monarc」、「DL」、「C5」、「八開」、「封筒長型 3 号」、「長尺紙」、「ユーザー定義用紙 1」、「ユーザー定義用紙 2」、「ユーザー定義用紙 3」を選択できます。ただし、「(3) 給紙方法」で直接トレイを選択した場合、このオプションは無効です。デフォルトは「A4」です。

注記 ▶ デバイス設定、給紙方法の設定により、選択可能な用紙サイズが変わります。

(5) ユーザー定義用紙設定画面起動ボタン

ユーザー定義用紙設定画面を起動します。「(4) 用紙サイズ設定」で「ユーザー定義用紙 1~3」を選択している場合のみ有効です。(「5.8 ユーザー定義用紙設定画面」を参照してください)

注記 ▶ DocuPrint 201PS および Mono2 用です。

(6) Nup 選択コンボボックス

N 段組を選択します。「1up」と「2up」が選択できます。デフォルトは「1up」です。

(7) 印刷方向選択コンボボックス

印刷する向きを選択します。「たて」、「よこ」が選択できます。デフォルトは「たて」です。

(8) 両面印刷指定コンボボックス

両面印刷の方法を選択します。「なし」、「長辺とじ」、「短辺とじ」を選択できます。デフォルトは「なし」です。

(9) 排出方法選択コンボボックス (プリンターによって使用できない項目があります。)

排出方法を選択します。

デフォルトは「フェースダウン」です。

「フェースダウントレイ」	フェースダウントレイに排紙します。
「フェースアップトレイ」	フェースアップトレイに排紙します。
「メールボックス ビン <i>N</i> 」	メールボックスのビン <i>N</i> に排紙します。
「ソーター <i>N</i> 部」	ソーターに <i>N</i> 部コピーして排紙します。
「フィニッシャー (自動)」	ステープルフィニッシャー排紙先を自動選択します。
「フィニッシャー ビン <i>N</i> 」	ステープルフィニッシャーのビン <i>N</i> に出力します。
「オフセット排出トレイ」	オフセット排出トレイに排紙します。

注記 ▶ 機種によっては以下のように読み替えてください。

センタートレイ ▶	フェースダウントレイ
サイドトレイ ▶	フェースアップトレイ
リアトレイ ▶	フェースアップトレイ
スタックカートレイ ▶	フィニッシャー

(10) 部数指定スピンボックス

印刷する部数を設定します。デフォルトは 1 です。

(11) 電子ソート選択チェックボックス

部単位での印刷を行います。「5.7 デバイス設定画面」でハードディスクが「有」に設定されていて、「(10) 部数指定」で 2 以上を指定している場合のみ有効です。デフォルトは「OFF」です。

(12) 強制 PostScript 処理選択チェックボックス

入力されたファイルを強制的に PostScript ファイルとして処理します。

(13) 余白設定ボタン

余白設定画面を開きます。(「5.3 余白設定画面」を参照してください)

(14) フォント設定ボタン

フォントの設定を行います。(「5.4 フォント設定画面」を参照してください)

(15) 特殊文字設定ボタン

特殊文字の設定を行います。(「5.6 特殊文字設定画面」を参照してください)

(16) デバイス設定ボタン

プリンター固有の機能を設定します。(「5.7 デバイス設定画面」を参照してください)

(17) 画像詳細設定ボタン

イメージファイル固有のオプションを設定します。(「5.5 画像詳細設定画面」を参照してください)

(18) 設定保存ボタン

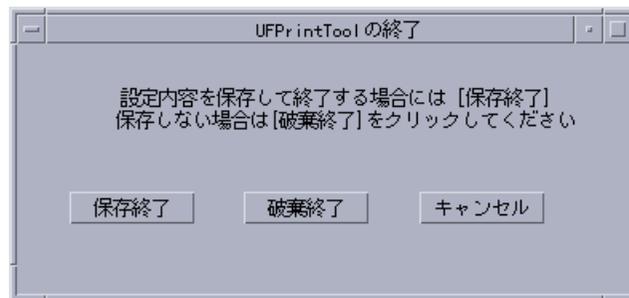
現在設定されている内容を保存します。詳細は「第 8 章 設定保存ファイル」を参照してください。

(19) 印刷ボタン

現在設定されているオプションで印刷を行います。

(20) 終了ボタン

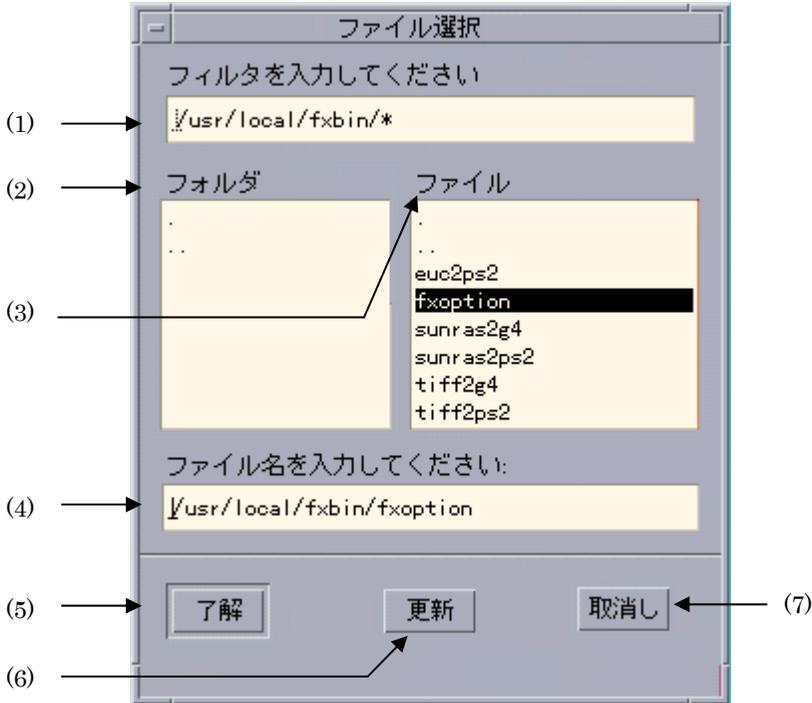
UFPrintTool を終了します。ボタン押下すると終了ダイアログが表示され(図 2)、「保存終了」、「破棄終了」、「キャンセル」の 3 つを選択できます。



【図 2】

5.2 ファイル選択画面

メイン画面のファイル名入力テキストボックス参照ボタンをクリックしたときに起動されるウィンドウで、印刷するファイルを選択します。



【図 3】

(1) フィルター入力テキストボックス

フィルターを入力します。「*」、「?」のワイルドカードが使用可能です。「(6) 更新ボタン」をクリックすると「(2) フォルダ選択リストボックス」、「(3) ファイル選択リストボックス」の内容が更新されます。

(2) フォルダ選択リストボックス

「(1) フィルター入力テキストボックス」にて指定されたディレクトリ下のディレクトリを表示します。また、表示されているフォルダをダブルクリックするとそのフォルダに移動し、「(3) ファイル選択リストボックス」が更新されます。

(3) ファイル選択リストボックス

「(1) フィルター入力テキストボックス」にて指定されたディレクトリ下のファイルを表示します。また、表示されているファイルをダブルクリックするとそのファイルが「(4) ファイル名入力テキストボックス」に絶対パスで表示されます。

(4) ファイル名入力テキストボックス

「(3) ファイル選択リストボックス」にて指定されたファイルを絶対パスで表示します。また、直接ファイル名を入力した場合にはアクティブが他のコントロールに移ったときにパス名が付加されます。

(5) 了解ボタン

「(4) ファイル名入力テキストボックス」にて指定されたファイルをメイン画面のファイル名入力テキストボックスに絶対パスで表示します。

(6) 更新ボタン

「(1) フィルター入力テキストボックス」にて指定されたフィルターより、「(2) フォルダ選択リストボックス」、「(3) ファイル選択リストボックス」を更新します。

(7) 取消しボタン

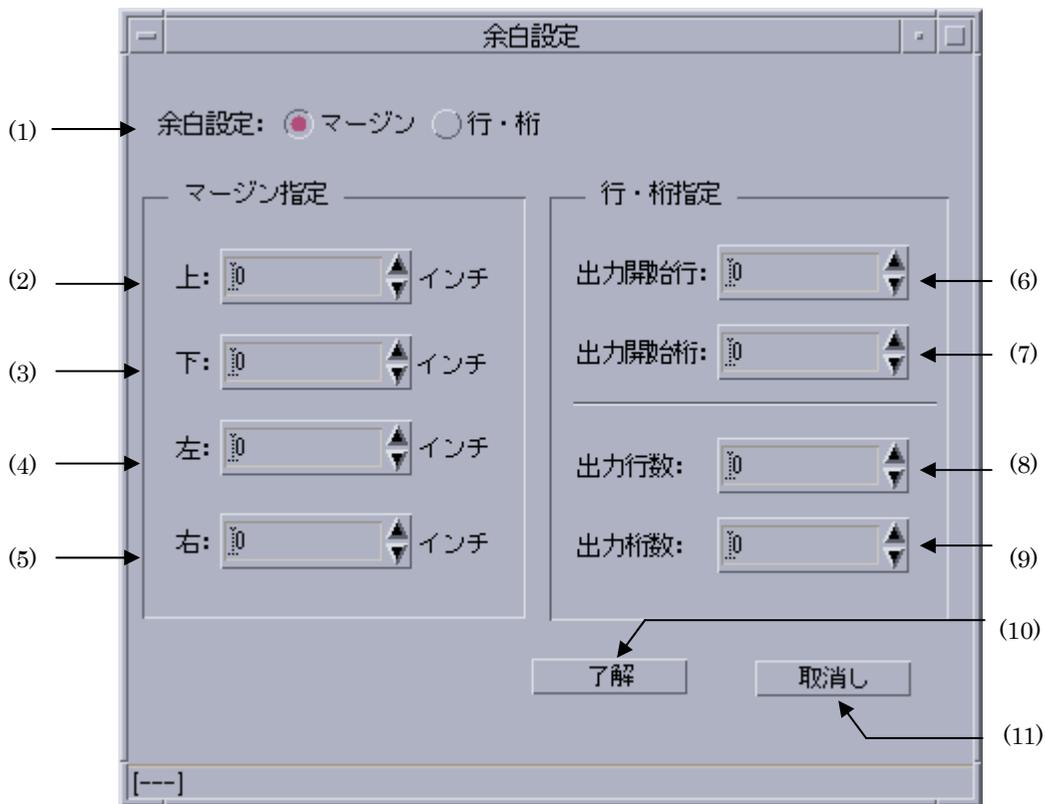
ファイルを選択せずにファイル選択ダイアログを終了します。

注記 ▶

「(4) ファイル名入力テキストボックス」には、必ずファイル名を入力してください。ディレクトリを指定した場合は、エラーメッセージが出力されます。

5.3 余白設定画面

インチ単位または文字単位での余白の設定を行います。テキストファイルを指定した場合のみ有効です。



【図 4】

余白設定はいずれも設定値「0」でプリンターの最大印刷可能領域に印刷をするように設定してあります。従って余白設定で設定する値は「用紙の端」からではなく「プリンターの最大印刷可能範囲」からの値になります。

(1) 余白設定選択ラジオボタン

余白設定方法を選択します。「マージン指定」と「行・桁指定」が選択できます。

「マージン指定」を指定した場合には(2)～(5)のスピンボックスへの入力が可能です。

その場合、(6)～(9)のスピンボックスはインアクティブとなり入力できません。「行・桁指定」を指定した場合には(6)～(9)のスピンボックスへの入力が可能です。

その場合、(2)～(5)のスピンボックスはインアクティブとなり入力できません。

(2) 上マージン指定スピンボックス

余白上マージンをインチ単位で指定します。最大値は 20、最小値は 0、刻み幅は 0.01 です。小数点第 2 位までの入力が可能です。デフォルトは 0 に設定されています。

(3) 下マージン指定スピンボックス

余白下マージンをインチ単位で指定します。最大値は 20、最小値は 0、刻み幅は 0.01 です。小数点第 2 位までの入力が可能です。デフォルトは 0 に設定されています。

(4) 左マージン指定スピンボックス

余白左マージンをインチ単位で指定します。最大値は 20、最小値は 0、刻み幅は 0.01 です。小数点第 2 位までの入力が可能です。デフォルトは 0 に設定されています。

(5) 右マージン指定スピンボックス

余白右マージンをインチ単位で指定します。最大値は 20、最小値は 0、刻み幅は 0.01 です。小数点第 2 位までの入力が可能です。デフォルトは 0 に設定されています。

(6) 出力開始行指定スピンボックス

余白上マージンを行単位で指定します。入力可能な最大値は 100、最小値は 0、刻み幅は 1 です。小数は入力できません。デフォルトは 0 に設定されています。

(7) 出力開始桁指定スピンボックス

余白左マージンを桁単位で指定します。入力可能な最大値は 100、最小値は 0、刻み幅は 1 です。小数は入力できません。デフォルトは 0 に設定されています。

(8) 出力行数指定スピンボックス

余白下マージンを 1 ページあたりの出力行数を設定する事で指定します。「(6) 出力開始行指定スピンボックス」で指定した行数と、合計した値が印刷可能行数に収まる値を設定してください。入力可能な最大値は 100、最小値は 0、刻み幅は 1 です。小数は入力できません。

0 を指定した場合には、用紙サイズを考慮して印字可能な範囲に収まる値の自動計算を行います。デフォルトは 0 です。

注記 ▶ 用紙の印刷可能行数を超えた値を設定した場合には、用紙からはみ出した分の行は印刷されません。

(9) 出力桁数指定スピンボックス

余白右マージンを半角文字で 1 行あたりの出力桁数を設定する事で指定します。「(7) 出力開始桁指定スピンボックス」で指定した桁数と、合計した値が印刷可能桁数に収まる値を設定してください。入力可能な最大値は 100、最小値は 0、刻み幅は 1 です。小数は入力できません。

0 を指定した場合には、用紙サイズを考慮して印字可能な範囲に収まる値の自動計算を行います。デフォルトは 0 です。

注記 ▶ 用紙の印刷可能桁数を超えた値を設定した場合には、用紙からはみ出した分の行は印刷されません。

(10) 了解ボタン

設定内容を反映させ、余白設定画面を終了します。

(11) 取消しボタン

設定内容を破棄して、余白設定画面を終了します。

注記 ▶

「(8) 出力行数指定スピボックス」で指定した行数が用紙をはみ出す場合、その分の行は印刷されません。

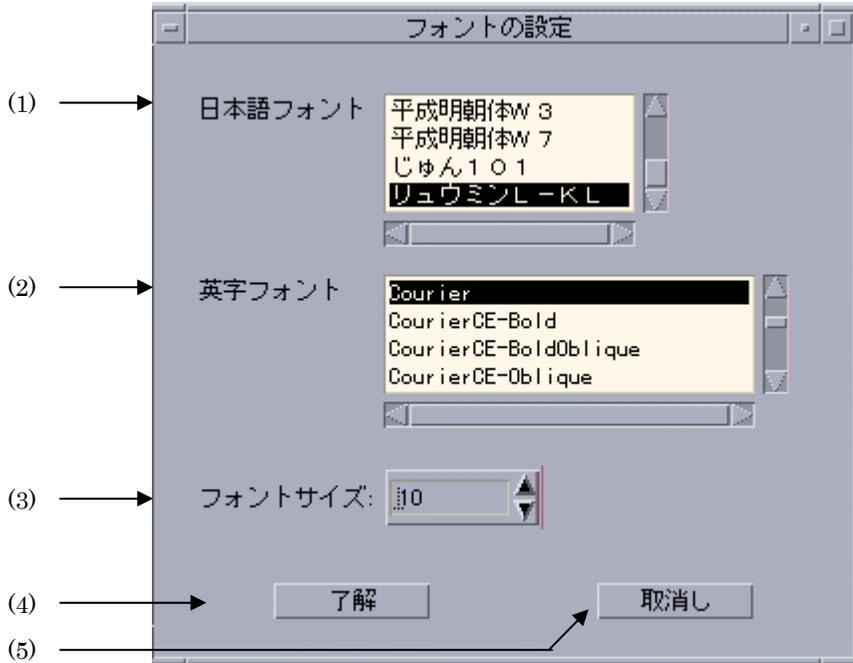
(例) 印刷可能行数が 80 行の用紙に出力開始行を 10、出力行数を 80 に指定して印刷した場合、印刷位置 10 行目から 70 行出力されます。残りの 10 行は出力されません。

「(9)出力桁数指定スピボックス」で指定した桁数が用紙をはみ出す場合、その分の桁は印刷されません。

(例) 印刷可能桁数が 100 桁の用紙に出力開始桁を 10、出力桁数を 120 に指定して印刷した場合、印刷位置 10 桁目から 90 桁出力されます。残りの 30 桁は出力されません。

5.4 フォント設定画面

英字フォント、日本語フォント選択および、フォントサイズの設定を行います。テキストファイルを指定した場合のみ有効です。



【図 5】

(1) 日本語フォント選択リストボックス

日本語フォントを選択します。使用できるフォントについては『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。デフォルトは「リュウミンライト」です。

(2) 英字フォント選択リストボックス

英字フォントを選択します。使用できるフォントについては『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。デフォルトは「リュウミンライト」です。

(3) フォントサイズ設定スピンドボックス

フォントサイズを設定します。単位はポイントです。最大値は 100、最小値 1、刻み幅は 1 です。デフォルトは 10 に設定されています。

(4) 了解ボタン

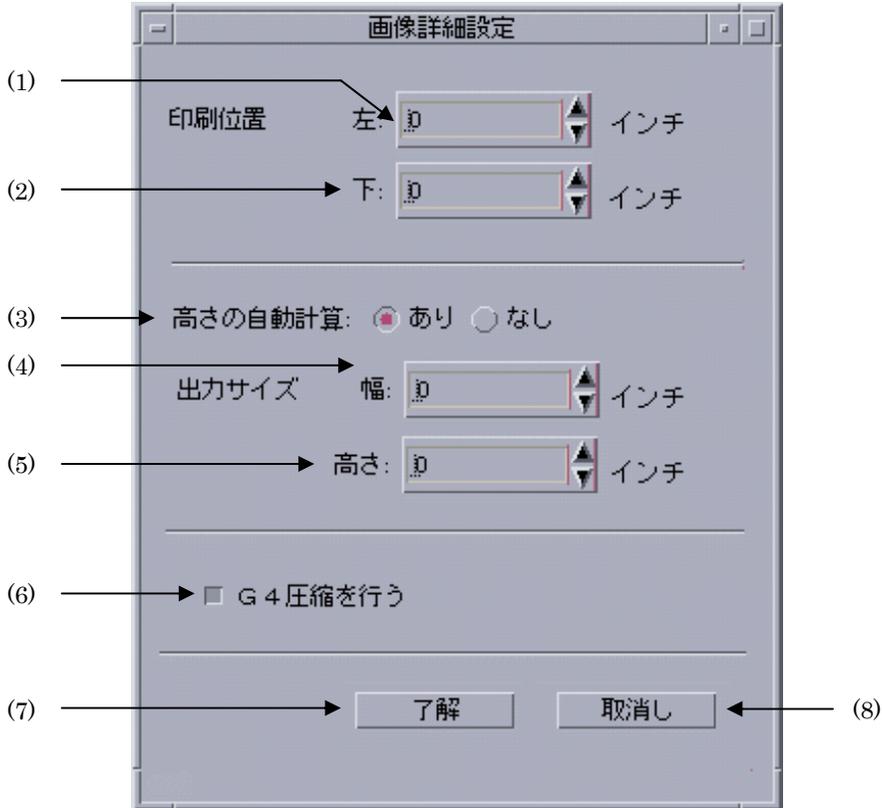
設定内容を反映させ、フォント設定画面を終了します。

(5) 取消しボタン

設定内容を破棄して、フォント設定画面を終了します。

5.5 画像詳細設定画面

印刷位置、出力サイズ、画像圧縮オプションの設定を行います。イメージファイル印刷時のみ有効です。



【図 6】

出力位置指定は、用紙の左下を基準とします。

(1) 印刷位置（左）設定スピンドボックス

左からの印刷位置をインチ単位で設定します。最大値は 20、最小値は 0、刻み幅は 0.01 です。小数点第 2 位まで指定できます。デフォルトは 0.25 です。

(2) 印刷位置（下）設定スピンドボックス

下からの印刷位置をインチ単位で設定します。最大値は 20、最小値は 0、刻み幅は 0.01 です。小数点第 2 位まで指定できます。デフォルトは 0.25 です。

(3) 高さ自動計算選択ラジオボタン

出力幅にあわせた出力高さの自動計算「あり」、「なし」を選択します。「あり」を選択した場合には「(4) 出力サイズ（幅）設定スピンドボックス」で設定した幅に合わせて高さの自動計算を行います。その場合、「(5) 出力サイズ（高さ）設定スピンドボックス」はインアクティブとなります。デフォルトは「あり」に設定されています。

(4) 出力サイズ（幅）設定スピンドボックス

出力幅をインチ単位で設定します。最大値は 20、最小値は 0、刻み幅は 0.01 です。小数点第 2 位まで指定できます。0 を設定した場合には出力サイズ（幅・高さ）は無視されます。デフォルトは 2 です。

(5) 出力サイズ（高さ）設定スピンドボックス

出力高さをインチ単位で設定します。最大値は 20、最小値は 0、刻み幅は 0.01 です。0 を設定した場合には出力サイズ（幅・高さ）は無視されます。小数点第 2 位まで指定できます。デフォルトは 2 です。

(6) G4 圧縮設定チェックボックス

CCITT グループ G4 圧縮の実行を設定します。デフォルトは OFF です。

(7) 了解ボタン

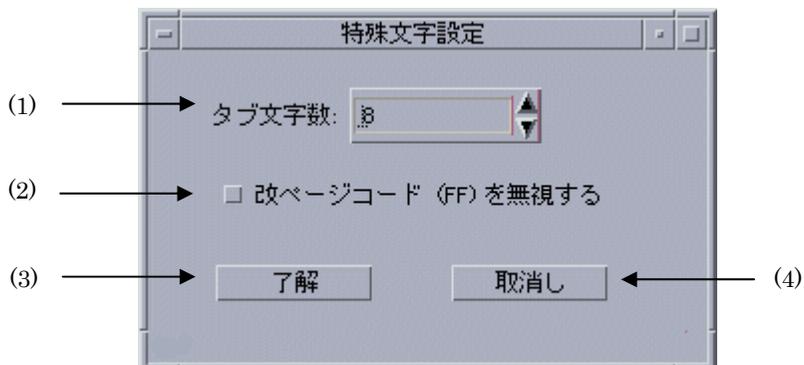
設定内容を反映させ、画像詳細設定画面を終了します。

(8) 取消しボタン

設定内容を破棄して、画像詳細設定画面を終了します。

5.6 特殊文字設定画面

タブ文字数の設定、改ページコード (FF) の制御を設定します。テキストファイル指定時のみ有効です。



【図 7】

(1) タブ文字数設定スピンボックス

水平タブを半角文字に換算して入力値数の空白に置き換えます。最大値は 100、最小値は 0、刻み幅は 1 です。デフォルトは 8 に設定されています。

(2) 改ページコード (FF) 無視チェックボックス

改ページコードを無視します。デフォルトは OFF です。

(3) 了解ボタン

設定内容を反映させ、特殊文字設定画面を終了します。

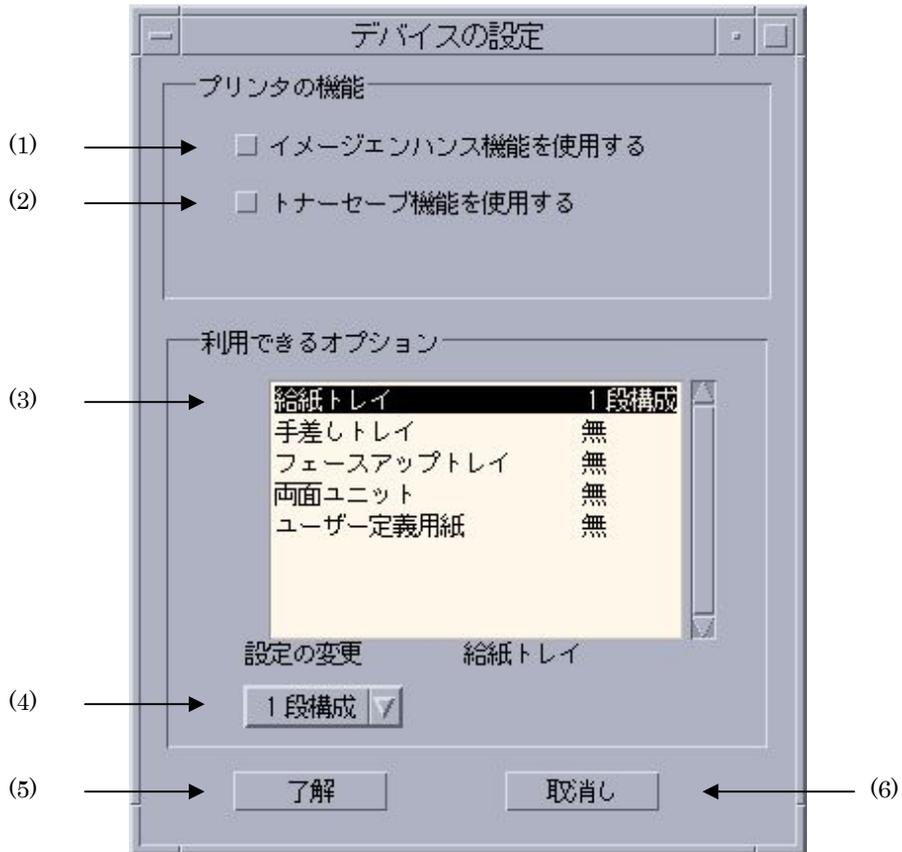
(4) 取消しボタン

設定内容を破棄して、特殊文字設定画面を終了します。

5.7 デバイス設定画面

プリンター固有の機能を設定します。

5.7.1 Mono2 の場合



【図 8】

注記 ▶ プリンタ機種によっては以下のように読み替えてください。

- センタートレイ ▶ フェースダウントレイ
- サイドトレイ ▶ フェースアップトレイ
- リアトレイ ▶ フェースアップトレイ
- 両面モジュール ▶ 両面ユニット

(1) イメージエンハンス設定チェックボックス

イメージエンハンス機能を使用します。デフォルトは OFF です。

(2) トナーセーブ設定チェックボックス

トナーセーブ機能を使用します。デフォルトは OFF です。

(3) プリンターオプション選択リストボックス

プリンターオプションの一覧を表示します。各プリンターオプションの現在の設定状態も合わせて表示します。ここでプリンターオプションを選択すると、「(4) プリンターオプション設定リストボックス」の選択項目が変更されます。

(4) プリンターオプション設定リストボックス

プリンターオプションを設定します。「(4) プリンターオプション選択リストボックス」で選択しているプリンターオプションに対して設定を行います。オプションとその設定できる値は下記の通りです。

オプション	意味	設定可能な値	デフォルト
給紙トレイ	自動給紙トレイの段数を指定します	1 段構成、2 段構成、3 段構成、4 段構成	1 段構成
手差しトレイ	手差しトレイの有無を設定します	有、無	無
フェースアップトレイ	フェースアップトレイの有無を設定します	有、無	無
両面ユニット	両面印刷ユニットの有無を設定します	有、無	無
ユーザー定義用紙	ユーザー定義用紙の有無を設定します	有、無	無

設定を変更した場合、関連するコントロールの表示はデフォルト値に戻ります。関連するコントロールについては「第 7 章 オプションの競合」を参照してください。

(例) メイン画面にて給紙方法をトレイ 4 に設定し、デバイス設定画面にて給紙トレイを 2 段構成に変更した場合

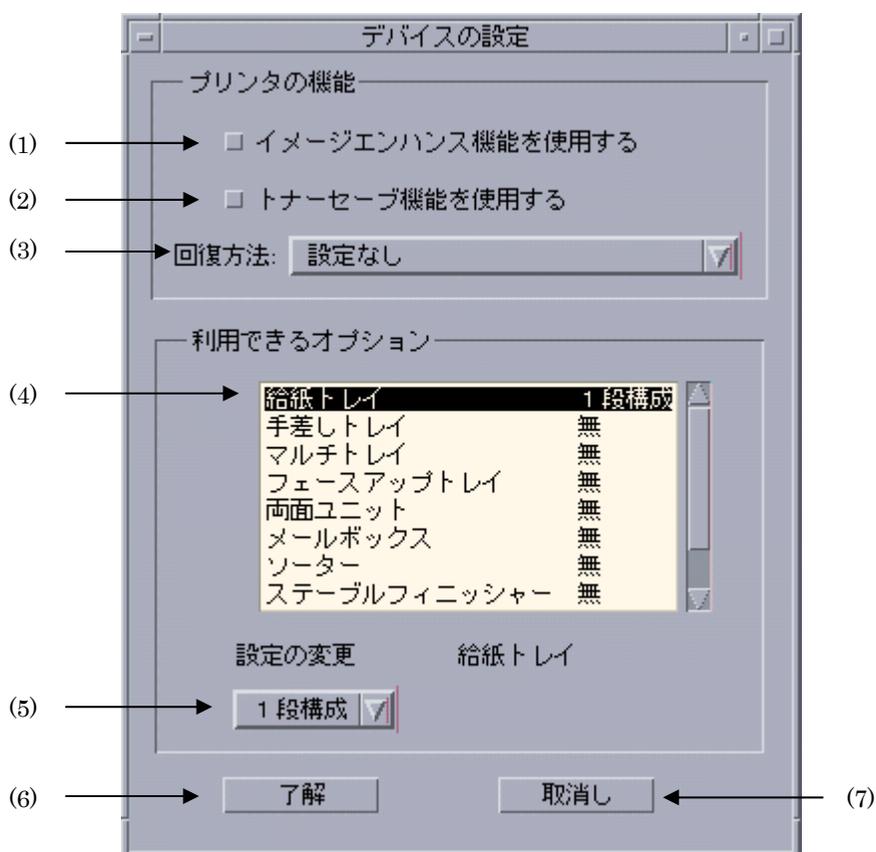
(5) 了解ボタン

設定内容を反映させ、デバイス設定画面を終了します。

(6) 取消しボタン

設定内容を破棄して、デバイス設定画面を終了します。

5.7.2 Monoの場合



【図 9】

注記 ▶ プリンタ機種によっては以下のように読み替えてください。

センタートレイ ▶ フェースダウントレイ

サイドトレイ ▶ フェースアップトレイ

両面モジュール ▶ 両面ユニット

(1) イメージエンハンス設定チェックボックス

イメージエンハンス機能を使用します。デフォルトは OFF です。

(2) トナーセーブ設定チェックボックス

トナーセーブ機能を使用します。デフォルトは OFF です。

(3) 回復方法選択コンボボックス

Laser Press 2100PS と DocuPrint 201PS でのみ使用します。

要求された用紙サイズが使用可能な用紙のいずれにも該当しない場合の回復方針を選択します。以下の 8 種類の回復方針を選択できますが、「用紙補給を 180 秒待機」、または「一番近い用紙に拡大・縮小印刷」を選択される事をお薦めします。また、上記のプリンター以外をご使用の場合は「設定なし」を選択してください。デフォルトは「設定なし」です。

「印刷を中止しエラーを出力」

印刷が中止されエラーを生成します。

「用紙サイズを無視して印刷」

指定した用紙サイズを無視して印刷します。

「用紙補給を 180 秒待機」

指定したサイズの用紙が 180 秒間補給されなかった場合、印刷が中止されエラーが生成されます。

「一番近い用紙に拡大・縮小印刷」

指定したサイズの用紙がトレイに存在しない場合、一番近いものを選択し拡大・縮小して印刷します。

「次に大きい用紙に拡大印刷」

指定したサイズの用紙がトレイに存在しない場合、次に大きいものを選択し拡大して印刷します。

「一番近い用紙に指定サイズで印刷」

指定したサイズの用紙がトレイに存在しない場合、一番近いものを選択して印刷しますが指定した用紙サイズ用のサイズで印刷します。

「次に大きい用紙に指定サイズで印刷」

指定したサイズの用紙がトレイに存在しない場合、次に大きいものを選択しますが指定した用紙サイズ用のサイズで印刷します。回復方針を設定しません。

「設定なし」

(4) プリンターオプション選択リストボックス

プリンターオプションの一覧を表示します。各プリンターオプションの現在の設定状態も合わせて表示します。ここでプリンターオプションを選択すると、「(5) プリンターオプション設定リストボックス」の選択項目が変更されます。

オプションとその設定できる値は下記の通りです。

(5)プリンターオプション設定リストボックス

プリンターオプションを設定します。「(4) プリンターオプション選択リストボックス」で選択しているプリンターオプションに対して設定を行います。オプションとその設定できる値は下記の通りです。

オプション	意味	設定可能な値	デフォルト
給紙トレイ	自動給紙トレイの段数を指定します	1段構成、2段構成、3段構成、4段構成	1段構成
手差しトレイ	手差しトレイの有無を設定します	有、無	無
マルチトレイ	マルチトレイの有無を設定します	有、無	無
フェースアップトレイ	フェースアップトレイの有無を設定します	有、無	無
両面ユニット	両面印刷ユニットの有無を設定します	有、無	無
メールボックス	メールボックスの有無を設定します	有、無	無
ソーター	ソーターの有無を設定します	有、無	無
ステーブルフィニッシャー	ステーブルフィニッシャーの有無を設定します	有、無	無
ハードディスク	ハードディスクの有無を設定します	有、無	無
ユーザー定義用紙	ユーザー定義用紙の有無を設定します	有、無	無

設定を変更した場合、関連するコントロールの表示はデフォルト値に戻ります。関連するコントロールについては「第7章 オプションの競合」を参照してください。

(例) メイン画面にて給紙方法をトレイ4に設定し、デバイス設定画面にて給紙トレイを2段構成に変更した場合、メイン画面の給紙方法は、強制的に自動給紙となります。(デフォルトに戻ります)

(6)了解ボタン

設定内容を反映させ、デバイス設定画面を終了します。

(7)取消しボタン

設定内容を破棄して、デバイス設定画面を終了します。

5.8 ユーザー定義用紙設定画面

ユーザー定義用紙の幅、高さの設定をします。



【図 10】

注記 ▶ DocuPrint 201PS および Mono2 用です。

(1) 幅設定スピンドボックス

用紙の幅をミリ単位で設定します。小数点第 1 位まで指定できます。
デフォルトは 86.1 です。

Mono 用の場合

使用可能範囲は 86.1~304.8mm

Mono2 用の場合

使用可能範囲は 76.2~304.8mm

(2) 高さ設定スピンドボックス

用紙の高さをミリ単位で設定します。小数点第 1 位まで指定できます。
デフォルトは 148.2 です。

Mono 用の場合

使用可能範囲は 148.2~505.0mm

Mono2 用の場合

使用可能範囲は 98.4~508.0mm

長尺紙用として 900mm を指定可能

(3) 了解ボタン

設定内容を反映させ、ユーザー定義用紙設定画面を終了します。

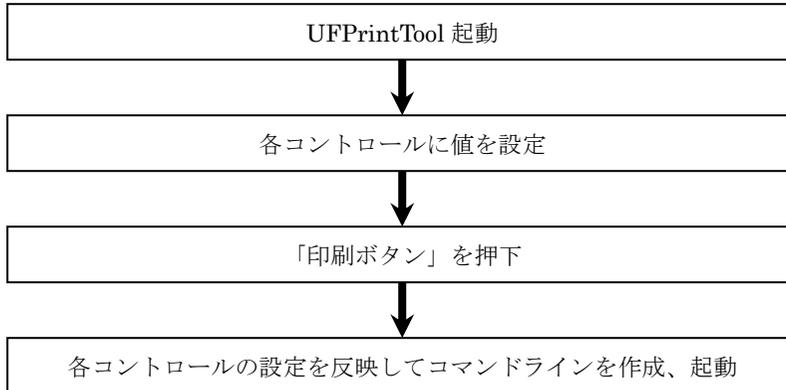
(4) 取消しボタン

設定内容を破棄して、ユーザー定義用紙設定画面を終了します。

第6章 コマンドライン作成機能

6.1 UNIX フィルターのコマンドライン作成機能

UFPrintTool では、以下に示すように印刷ボタンを押下したタイミングで各コントロールの設定を反映して UNIX フィルターのコマンドラインを作成し起動します。この章では「第 4 章 各画面の機能説明 (SunOS 4.x/Linux/HP-UX)」または「第 5 章 各画面の機能説明 (Solaris)」で説明した各コントロールを設定することにより、UNIX フィルターの起動がどのように行われているかを説明します。UNIX フィルターの起動方法、オプションの内容は『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。



6.1.1 起動されるコマンド

UFPrintTool では、印刷対象ファイルごとに起動されるコマンドが異なります。ファイル種別により起動されるコマンドは以下の通りです。各コマンドの詳細については『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照して下さい。

- ・テキストファイル `euc2ps2`
- ・SunRaster 形式イメージファイル `sunras2ps2` (G4 圧縮が指定されている場合には `sunras2g4`) (SunOS 4.x/Solaris のみ)
- ・Tiff 形式イメージファイル `tiff2ps2` (G4 圧縮が指定されている場合には `tiff2g4`)
- ・XWD 形式イメージファイル `xwd2ps2` (G4 圧縮が指定されている場合には `xwd2g4`)
- ・ポストスクリプトファイル `fxpif`
- ・PDF 形式ファイル `pdf2ps`, `fxpif`
(Linux 専用。Ghostscript の `pdf2ps` を使用した変換を行います。)

6.1.2 各コマンドの実行形式

「6.1.1 起動されるコマンド」で説明した各起動コマンドを使用して印刷する実行形式は以下の通りです。

[SunOS 4.x]

- テキストファイル `eu2ps2 [options] filename | lpr -Pprintername`
- SunRaster 形式イメージファイル `sunras2ps2 [options] filename | lp -d printername`
- SunRaster 形式 (G4 圧縮あり) `sunras2g4 [options] filename | lp -d printername`
- XWD 形式イメージファイル `xwd2ps2 [options] filename | lpr -Pprintername`
- XWD 形式 (G4 圧縮あり) `xwd2g4 [options] filename | lpr -Pprintername`
- Tiff 形式イメージファイル `tiff2ps2 [options] filename | lpr -Pprintername`
- Tiff 形式 (G4 圧縮あり) `tiff2g4 [options] filename | lpr -Pprintername`
- ポストスクリプトファイル `fxpif -nlogname -hhostname [options] < filename | lpr -Pprintername`

[Solaris/HP-UX]

- テキストファイル `eu2ps2 [options] filename | lp -d printername`
(Solaris9 まで/HP-UX)
`eu2ps2 [options] filename | lp -d printername -T UXPS`
- SunRaster 形式イメージファイル `sunras2ps2 [options] filename | lp -d printername`
(Solaris9 まで)
`sunras2ps2 [options] filename | lp -d printername -T UXPS`
- SunRaster 形式 (G4 圧縮あり) `sunras2g4 [options] filename | lp -d printername`
(Solaris9 まで)
`sunras2g4 [options] filename | lp -d printername -T UXPS`
- TIFF 形式イメージファイル `tiff2ps2 [options] filename | lp -d printername`
(Solaris9 まで/HP-UX)
`tiff2ps2 [options] filename | lp -d printername -T UXPS`
- TIFF 形式 (G4 圧縮あり) `tiff2g4 [options] filename | lp -d printername`
(Solaris9 まで/HP-UX)
`tiff2g4 [options] filename | lp -d printername -T UXPS`
- XWD 形式イメージファイル `xwd2ps2 [options] filename | lp -d printername`
(Solaris9 まで/HP-UX)
`xwd2ps2 [options] filename | lp -d printername -T UXPS`
- XWD 形式 (G4 圧縮あり) `xwd2g4 [options] filename | lp -d printername`
(Solaris9 まで/HP-UX)

- ・ポストスクリプトファイル

```
xwd2g4 [options] filename | lp -d printername
-T UXPS
fxpif -nlogname -hhostname [options] < filename |
lp -d printername (Solaris9 まで)
fxpif -nlogname -hhostname [options] < filename |
lp -d printername -T UXPS(Solaris)
euc2ps2 [options] filename | lp -d printername
(HP-UX)
```

[Linux]

- ・テキストファイル
- ・XWD 形式イメージファイル
- ・XWD 形式 (G4 圧縮あり)
- ・Tiff 形式イメージファイル
- ・Tiff 形式 (G4 圧縮あり)
- ・ポストスクリプトファイル
- ・PDF 形式ファイル

```
euc2ps2 [options] filename | lpr -Pprintername
xwd2ps2 [options] filename | lpr -Pprintername
xwd2g4 [options] filename | lpr -Pprintername
tiff2ps2 [options] filename | lpr -Pprintername
tiff2g4 [options] filename | lpr -Pprintername
fxpif -nlogname -hhostname [options] < filename |
lpr -Pprintername
pdf2ps filename tmpfile;
fxpif -nlogname -hhostname [options] < tmpfile |
lpr -Pprintername
```

6.2 メイン画面

メイン画面の各コントロールへの設定により付加される UNIX フィルターオプションの一覧を以下に示します。UNIX フィルターオプションの詳細については『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。

コントロール名称	入力項目	
ファイル名	<i>Filename</i>	
プリンター名	<i>printername</i>	
[Mono2]		
コントロール名称	選択項目	オプション
給紙方法	自動給紙	-I
	手差しトレイ	-IMSI-
	トレイ1	-I1
	トレイ2	-I2
	トレイ3	-I3
用紙サイズ	トレイ4	-I4
	A3	A3
	A4	A4
	A5	A5
	B4	B4
	B5	B5
	レター	LT
	レジャー	LD
	フォリオ	FL
	リーガル	LG
	ステートメント	ST
	Executive	EXE
	ハガキ	PC
	COM10	COM10
MonArc	Monarc	
Nup	DL	DL
	C5	C5
	封筒洋形4号	EY4
印刷方向	1up	
	2up	-2
両面印刷	たて	
	よこ	-r
両面印刷	なし	
	長辺とじ	-D
	短辺とじ	-d

コントロール名称	選択項目	オプション
排紙方法	フェースダウン	-Ofd
	フェースアップ	-Ofu
	オフセット排出トレイへ排紙	-Oof
部数	出力部数 n	-Nc= n
電子ソート	あり	-Cl
	なし	
強制PostScript処理	あり	-ps
	なし	

[Mono]

コントロール名称	選択項目	オプション
給紙方法	自動給紙	-I
	手差しトレイ	-IMSI-
	トレイ1	-I1
	トレイ2	-I2
	トレイ3	-I3
	トレイ4	-I4
	マルチトレイ1	-Im1
	マルチトレイ2	-Im2
	マルチトレイ3	-Im3
	用紙サイズ	A3
A4		A4
A5		A5
A6		A6
B4		B4
B5		B5
B6		B6
レター		LT
レジャー		LD
フォリオ		FL
リーガル		LG
ステートメント		ST
ハガキ		PC
COM10		COM10
MonArc		Monarc
DL		DL
C5		C5
八開		Pakai
封筒長型 3 号		EC3

	長尺紙	PL
Nup	1up	
	2up	-2
印刷方向	たて	
	よこ	-r
両面印刷	なし	
	長辺とじ	-D
排紙方法	短辺とじ	-d
	フェースダウン	-Ofd
	フェースアップ	-Ofu
	メールボックス1への排紙	-Om1
	メールボックス2への排紙	-Om2
	メールボックス3への排紙	-Om3
	メールボックス4への排紙	-Om4
	メールボックス5への排紙	-Om5
	メールボックス6への排紙	-Om6
	メールボックス7への排紙	-Om7
	メールボックス8への排紙	-Om8
	メールボックス9への排紙	-Om9
	メールボックス10への排紙	-Om10
	ソーターへの1部排紙	-Ost1
	ソーターへの2部排紙	-Ost2
	ソーターへの3部排紙	-Ost3
	ソーターへの4部排紙	-Ost4
	ソーターへの5部排紙	-Ost5
	ソーターへの6部排紙	-Ost6
	ソーターへの7部排紙	-Ost7
	ソーターへの8部排紙	-Ost8
	ソーターへの9部排紙	-Ost9
	ソーターへの10部排紙	-Ost10
	フィニッシャーへの自動排紙	-Ofs
	フィニッシャー1への排紙	-Ofs1
	フィニッシャー2への排紙	-Ofs2
	フィニッシャー3への排紙	-Ofs3
部数	出力部数 n	-Nc= n
電子ソート	あり	-Cl
	なし	
強制PostScript処理	あり	-ps
	なし	

6.3 余白設定画面

余白設定画面の各コントロールへの設定により付加される UNIX フィルターオプションの一覧を以下に示します。UNIX フィルターオプションの詳細については『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。

コントロール名称	入力値	オプション
上マージン	上マージン $n1$	左マージン参照
下マージン	下マージン $n2$	左マージン参照
右マージン	右マージン $n3$	左マージン参照
左マージン	左マージン $n4$	<code>-mg=$n1$:$n2$:$n3$:$n4$</code>
出力開始行	出力開始行 n	<code>-Ln</code>
出力開始桁	出力開始桁 n	<code>-on</code>
出力行数	出力行数 n	<code>-ln</code>
出力桁数	出力桁数 n	<code>-wn</code>

6.4 フォント設定画面

フォント設定画面の各コントロールへの設定により付加される UNIX フィルターオプションの一覧を以下に示します。UNIX フィルターオプションの詳細については『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。

コントロール名称	入力値	オプション
日本語フォント	フォント $jpfont$	<code>-fj$jpfont$</code>
英字フォント	フォント $font$	<code>-ffont</code>
フォントサイズ	フォントサイズ n	<code>-sn</code>

6.5 画像詳細設定画面

画像詳細設定画面の各コントロールへの設定により付加される UNIX フィルターオプションの一覧を以下に示します。UNIX フィルターオプションの詳細については『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。G4 圧縮を設定している場合は、オプションではなくコマンドが変更されます。(sunras2g4、tiff2g4、または xwd2g4)

コントロール名称	入力値	オプション
印刷位置 (左)	印刷位置 (左) <i>left</i>	
印刷位置 (下)	印刷位置 (下) <i>bottom</i>	-l <i>left bottom</i>
出力サイズ (幅)	出力サイズ (幅) <i>width</i>	
出力サイズ (高さ)	出力サイズ (高さ) <i>height</i>	
高さ自動計算	あり	-S <i>width</i>
	なし	-s <i>width height</i>

6.6 特殊文字設定画面

特殊文字設定画面の各コントロールへの設定により付加される UNIX フィルターオプションの一覧を以下に示します。UNIX フィルターオプションの詳細については『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。

コントロール名称	入力値	オプション
タブ文字数	タブ文字数 <i>n</i>	-e <i>n</i>
改ページコード無視	あり	-F
	なし	

6.7 デバイス設定画面

デバイス設定画面の各コントロールへの設定により付加される UNIX フィルターオプションの一覧を以下に示します。UNIX フィルターオプションの詳細については『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。

コントロール名称	入力値	オプション
イメージエンハンス	あり	
	なし	-E
トナーセーブ	あり	-t
	なし	
回復方針	印刷を中止しエラーを出力	-C0
	ページサイズを無視して印刷	-C1
	用紙補給を180秒待機	-C2
	一番近い用紙に拡大・縮小印刷	-C3
	次に大きい用紙に拡大印刷	-C4
	一番近い用紙に指定サイズで印刷	-C5
	次に大きい用紙に指定サイズで印刷	-C6
設定なし		

6.8 ユーザー定義用紙設定画面

ユーザー定義用紙設定画面の各コントロールへの設定により付加される UNIX フィルターオプションの一覧を以下に示します。このオプションはいずれも用紙サイズ「ユーザー定義用紙 1~3」を選択している場合にのみ有効です。UNIX フィルターオプションの詳細については『UNIX フィルターのユーザーズマニュアル』を参照してください。

コントロール名称	入力値	オプション
用紙の幅	用紙の幅 w	-IMSI- $w \times h \times m m$
用紙の高さ	用紙の高さ h	-IMSI- $w \times h \times m m$

第7章 オプションの競合

オプションの競合について

UNIX フィルターの仕様により、ファイル形式、またはデバイスの設定を行うことで、UNIX フィルターオプションの競合が発生する場合があります。競合するオプションを設定するコントロールはインアクティブとなり値の設定ができなくなります。この章では、ファイル形式、デバイスの設定によりインアクティブとなるコントロールの一覧を示します。各コントロールの機能については「第4章 各画面の機能説明 (SunOS 4.x/Linux/HP-UX)」または「第5章 各画面の機能説明 (Solaris)」を参照してください。

7.1 ファイル形式により制限されるオプション

メイン画面のファイル名入力テキストボックスにファイル名を入力し、フォーカスを失ったときに競合する UNIX フィルターオプションを制限します。そのとき制限される UNIX フィルターオプションについて下記に示します。

指定ファイル形式	制限されるオプション
テキストファイル	印刷位置 高さ自動計算 : あり、なし 出力サイズ (幅、高さ) G4圧縮
イメージファイル	Nアップ指定 : あり、なし マージン指定 : 上、下、左、右 出力開始行 出力開始桁 出力行数 出力桁数 日本語フォント 英字フォント フォントサイズ タブ文字数 改ページコード (FF) 無視

指定ファイル形式	制限されるオプション
ポストスクリプトファイル	Nアップ指定：あり、なし マージン指定：上、下、左、右 出力開始行 出力開始桁 出力行数 出力桁数 日本語フォント 英字フォント フォントサイズ 印刷位置 高さ自動計算：あり、なし 出力サイズ（幅、高さ） G4圧縮 タブ文字数 改ページコード（FF）無視

7.2 デバイス設定により制限されるオプション

デバイス設定画面の「利用できるオプション」で設定を変更する事により制限される UNIX フィルターオプションの一覧を下記に示します。

デバイス設定	制限されるオプション
給紙トレイ：1段構成 : 2段構成 : 3段構成	給紙方法：トレイ2、トレイ3、トレイ4 : トレイ3、トレイ4 : トレイ4
手差しトレイ：無	給紙方法：手差しトレイ
マルチトレイ：無	給紙方法：マルチトレイ1、マルチトレイ2、 マルチトレイ3
フェースアップトレイ：無	排紙方法：フェースアップ
両面ユニット：無	両面印刷：長辺とじ、短辺とじ
メールボックス：無	排紙方法：メールボックス1への排紙 メールボックス2への排紙 メールボックス3への排紙 メールボックス4への排紙 メールボックス5への排紙 メールボックス6への排紙 メールボックス7への排紙 メールボックス8への排紙 メールボックス9への排紙 メールボックス10への排紙

デバイス設定	制限されるオプション
ソーター：無	排紙方法： ソーター1 への排紙 ソーター2 への排紙 ソーター3 への排紙 ソーター4 への排紙 ソーター5 への排紙 ソーター6 への排紙 ソーター7 への排紙 ソーター8 への排紙 ソーター9 への排紙 ソーター10 への排紙
ステーブル フィニッシャー：無	排紙方法： フィニッシャーへの排紙（自動） フィニッシャー1 への排紙 フィニッシャー2 への排紙 フィニッシャー3 への排紙
ハードディスク：無	電子ソート（部単位で印刷）
ユーザー定義用紙：無	用紙サイズ：ユーザー定義用紙 1 ユーザー定義用紙 2 ユーザー定義用紙 3

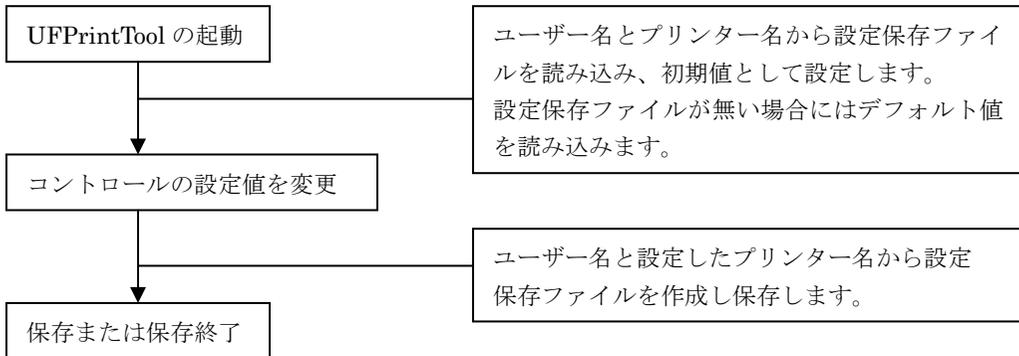
第8章 設定保存ファイル

コントロール変更内容の保存・読み込み

UFPrintTool では終了時に変更内容を保存する事が可能です。この章では各コントロールの変更内容の保存と起動時の反映について説明します。

8.1 仕組みについて

UFPrintTool の変更内容の保存・読み込みは以下のように行われます。



8.2 設定保存ファイル

UFPrintTool では変更内容の保存また読み込みは、設定保存ファイルに対して行います。このファイルは指定したプリンターによって名前が変更されます。また、ファイルは UFPrintTool を起動したユーザーの環境変数 HOME で示されるホームディレクトリに格納されます。従って、すべてのユーザーがプリンターごとの設定保存ファイルを作成することが可能となります。以下に設定保存ファイルの命名規則を示します。なお、設定保存ファイルは隠しファイルとして作成されます。

補足 ▶ 隠しファイルは「ls -a」で表示されます。

<命名規則>

\$HOME/.【選択したプリンター】.ufg

(例) ログイン名「Ufilter」で UFPrintTool を起動し、プリンター「PHOENIX」を選択して変更内容を保存して終了した場合には Ufilter のホームディレクトリに「.PHOENIX.ufg」というファイルが作成されます。

8.3 変更内容の読み込み

UFPrintTool で変更した内容を読み込むには起動オプションでプリンター名を指定してUFPrintToolを起動します。起動オプションについては「3.5 UFPrintToolの起動オプション」を参照してください。

注記 ▶ 必ずプリンター名を指定してください。指定しない場合はufptoolのデフォルト値を読み込みます。設定保存ファイルが存在しない場合、または設定値が不正の場合にもデフォルト値を読み込みます。

(例) プリンター名「PHOENIX」の設定保存ファイルを読み込んで起動する場合

```
./ufptool -PPHOENIX
```

これで、プリンター「PHOENIX」の設定内容ファイルを読み込みます。

8.4 変更内容の保存

変更内容を保存して終了するには各コントロールを変更後、<メイン画面>の「設定保存」ボタンを押下、もしくは<終了画面>の「保存終了」ボタンを押下します。変更した内容が設定保存ファイルに保存されます。

注記 ▶ 必ずプリンター名を指定して下さい。指定しない場合は変更したコントロールは全て破棄されます。

8.5 設定保存ファイルの内容

設定保存ファイルは UFPrintTool で設定変更できる全コントロールについて値を設定するテキストファイルです。下記にデフォルト設定ファイルの内容について示します。

```
# MAIN
MAIN_INPUT_TRAY=AUTO           # 給紙方法
MAIN_PAPER_SIZE=A4             # 用紙サイズ
MAIN_N_UP=1UP                  # Nup 指定
MAIN_RANDSCAPE=TATE            # 用紙の向き
MAIN_DUPLEX=NONE               # 両面印刷
MAIN_OUTPUT_TRAY= FACEDOWN     # 排紙方法
MAIN_NUM_COPY=1                # 部数指定
MAIN_SORT=OFF                  # 電子ソート
MAIN_PS_OPTION=OFF             # 強制 Postscript

# BLANK
BLANK_UNIT=INCH                # 余白設定方法
BLANK_TOP=0.00                 # 上マージン
BLANK_BOTTOM=0.00              # 下マージン
BLANK_RIGHT=0.00               # 右マージン
BLANK_LEFT=0.00                # 左マージン
BLANK_START_LINE=0             # 出力開始行
BLANK_START_KETA=0             # 出力開始桁
BLANK_LINE_NUM=0               # 出力行数
BLANK_KETA_NUM=0               # 出力桁数

# FONT
FONT_JAPANESE=Ryumin-Light-H   # 日本語フォント
FONT_ENGLISH=Ryumin-Light-RKSJ-H # 英語フォント
FONT_SIZE=10                    # フォントサイズ

# SPECIAL
SPECIAL_TAB=8                  # タブ文字数
SPECIAL_FF=OFF                 # 改ページコード無視

# IMAGE
IMAGE_POS_LEFT=0.25            # 印刷位置 (左)
IMAGE_POS_BOTTOM=0.25          # 印刷位置 (下)
IMAGE_HIGH_AUTO=ON             # 高さ自動計算
IMAGE_WIDTH=2.00                # 印刷サイズ (幅)
IMAGE_HEIGHT=2.00               # 印刷サイズ (高さ)
IMAGE_G4=OFF                    # G4 圧縮
```

```

# DEVICE
DEVICE_IMAGEENHANCE=OFF          # イメージエンハンス
DEVICE_TONERSAVE=OFF             # トナーセーブ
DEVICE_POLICY=7                  # 回復方針
DEVICE_INPUT_TRAY=1              # 給紙トレイの段数
DEVICE_MANU_TRAY=OFF             # 手差しトレイ
DEVICE_MULTI_TRAY=OFF            # マルチトレイ
DEVICE_FACEUP_TRAY=OFF           # フェースアップトレイ
DEVICE_DUPLEX_UNIT=OFF           # 両面印刷ユニット
DEVICE_MAILBOX=OFF               # メールボックス
DEVICE_SORTER=OFF                # ソーター
DEVICE_FINISHER=OFF              # ステープルフィニッシャー
DEVICE_HARDDISK=OFF              # ハードディスク
DEVICE_CUSTOMPAPER=OFF           # ユーザー定義用紙
# CUSTOM
PAPER1_WIDTH=86.1                # ユーザー定義用紙 1 (幅)
PAPER1_HEIGHT=148.2              # ユーザー定義用紙 1 (高さ)
PAPER2_WIDTH=86.1                # ユーザー定義用紙 2 (幅)
PAPER2_HEIGHT=148.2              # ユーザー定義用紙 2 (高さ)
PAPER3_WIDTH=86.1                # ユーザー定義用紙 3 (幅)
PAPER3_HEIGHT=148.2              # ユーザー定義用紙 3 (高さ)

```

注記 ▶ Mono2 では下記の指定は未使用です。

DEVICE_POLICY、DEVICE_MULTI_TRAY、DEVICE_MAILBOX、DEVICE_SORTER、
 DEVICE_HARDDISK、DEVICE_FINISHER

第9章 エラーメッセージ

9.1 エラーメッセージ一覧

エラーメッセージの一覧を下記に示します。

出力時	エラーメッセージ	原因
印刷ボタン押下	ファイル名が設定されていません	印刷ファイルが設定されていません
	プリンター名が選択されていません	印刷プリンターが設定されていません
	指定されたファイルは存在しません	指定したファイルが存在しません
起動時	設定保存ファイルの内容が不正です。 デフォルトの設定を読み込みます。	設定保存ファイルの設定値が許容範囲 を超えています
	指定されたプリンターは存在しません	起動オプションで指定したプリンター がシステムに登録されていません
ファイル選択時	指定されたファイルは存在しません	指定したファイルが存在しません

用語の説明

【EUC テキストファイル】

UNIX で日本語文字コードとして広く用いられている EUC 拡張 UNIX コード (EUC) で書かれたファイルです。

【SunRaster ファイル】

SunOS で広く用いられているビットマップイメージフォーマットで作成されたイメージファイルです。

【TIFF ファイル】

画像処理の分野で広く用いられているビットマップイメージフォーマットで作成されたイメージファイルです。

【XWD ファイル】

X Window システムをサポートする多くのプラットフォームで広く用いられているビットマップフォーマット (X11 Window Dump 形式) で作成されたイメージファイルです。

【PDF ファイル】

米国 **Adobe Systems** 社がデジタル書類によるコミュニケーションを実現するために開発したファイル形式です。

【スーパーユーザー】

ログイン名が「root」で、マシンを管理するための権限を持っているユーザーです。

【リモートプリンター】

リモートワークステーションから利用するプリンターのことです。

【リモートワークステーション】

プリンターとシリアルケーブルで接続されていないネットワーク上のワークステーションのことです。

【ローカルプリンター】

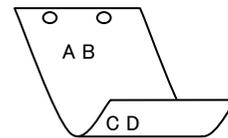
ローカルワークステーションから利用するプリンターのことです。

【ローカルワークステーション】

プリンターとシリアルケーブルで接続されたワークステーションのことです。

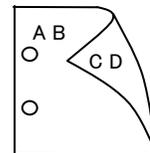
【短辺とじ両面印刷】

用紙の短いほうの辺をとじて両面印刷することです。



【長辺とじ両面印刷】

用紙の長いほうの辺をとじて両面印刷することです。



索引

U

UNIX フィルター 72

あ

アイコンから起動する場合 20

い

インストールの前提条件 15

インストール手順について 15

え

エラーメッセージ一覧 91

こ

コマンドラインから起動する場合 19

し

使用環境 11

た

対象プリンター 12

て

デバイス設定画面 45, 65

と

特殊文字 78

ふ

ファイル選択画面 37, 56

フォント設定画面 41, 61, 77

め

メイン画面 23, 33, 52

ゆ

ユーザー定義用紙設定画面 50, 70

よ

余白設定画面 58

漢字

画像詳細設定画面 42, 62

設定保存ファイル 86

特殊文字 64

特殊文字設定画面 44

余白設定画面 39

サポートお問い合わせは...

この商品のセットアップ・操作・機能などについてのお問い合わせは、
エイセル株式会社 製品サポート係までご連絡ください。

エイセル株式会社 製品サポート係

E-Mail	info-unixfilter@acel.co.jp
FAX	03-3230-0010
※受付時間	平日 9:30~12:00, 13:00~17:00 土日・祝祭日・当社指定休日を除く
URL	http://www.acel.co.jp

なお、お問い合わせいただく際には、以下の項目をご確認ください。

- UNIX Filter のバージョン
- ご使用中のパソコンの機種名および動作環境
- メモリ・ディスク容量や周辺機器の機種名など
- エラーメッセージが表示されている場合は、そのメッセージの内容
- 現象が起きた場合の詳細な手順がお分かりであれば、その内容

SunOS、Solaris、HP-UX、Linux 対応

共通デスクトップ環境専用
PostScript®プリンター用 ユーティリティソフトウェア

UFPrintTool ユーザーズガイド

2012年2月 第2版 第18刷

発行所 エイセル株式会社
住 所 〒102-0084 東京都千代田区二番町 9

著 者 ©Copyright 1999 - 2012 by エイセル株式会社

[本書の内容は、断りなく変更することがあります。]